

# 資料

## 障害者アンケート調査結果

### 1. 調査の概要

#### ● 調査対象者及び抽出方法

- ① 平成29年3月31日現在で和歌山県内に居住する障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を所持している方  
5,600人

#### （内訳）

- 身体障害者（身体障害者手帳所持者） 4,000人
- 知的障害者（療育手帳所持者） 800人
- 精神障害者（精神障害者保健福祉手帳所持者） 800人

#### （抽出方法）

- 上記障害者手帳所持者毎に市町村別、障害種別（身体障害者のみ）、障害等級別、年齢層別に無作為抽出

#### ● 調査方法

郵送による帳票の送付、回収及び礼状（兼催促状）の送付

#### ● 調査時期

平成29年10月中旬に調査票を送付（調査期間は1ヶ月程度）

#### ● 有効回答数

アンケートの返信は2,854件あり、これを有効回答数としました。

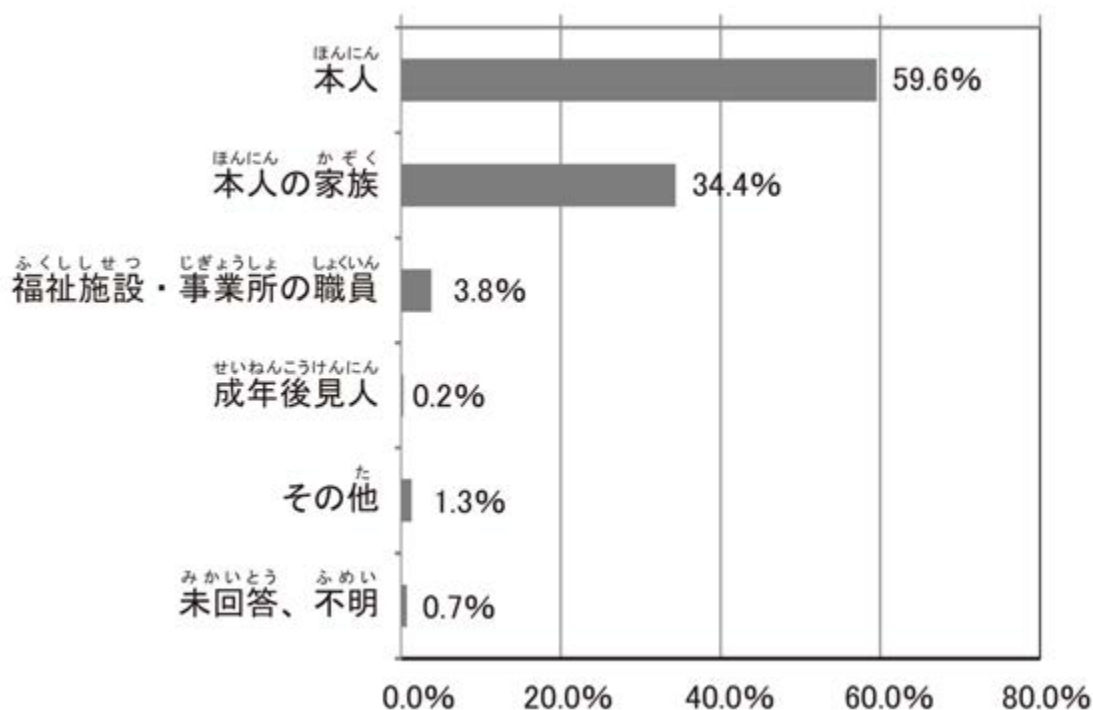
## 2. アンケートの見方<sup>みかた</sup>

- 回答結果<sup>かいとうけっか</sup>の割合<sup>わりあい</sup>「%」は有効回答数<sup>ゆうこうかいとうすう</sup>に対して、それぞれの回答数<sup>かいとうすう</sup>の割合<sup>わりあい</sup>を小数点第2位<sup>しょうすうてんだい</sup>で四捨五入<sup>い</sup>したものです。そのため、単数回答<sup>たんすうかいとう</sup>（複数<sup>ふくすう</sup>の選択肢<sup>せんたくし</sup>から1つの選択肢<sup>せんたくし</sup>をえら<sup>えら</sup>ぶほうしき<sup>ほうしき</sup>方式<sup>ごうけいち</sup>）であっても合計値<sup>ごうけいち</sup>が100.0%にならない場合があります<sup>ばあい</sup>。
- 複数回答<sup>ふくすうかいとう</sup>（複数<sup>ふくすう</sup>の選択肢<sup>せんたくし</sup>から2つ以上の選択肢<sup>いじょう</sup>をえら<sup>えら</sup>ぶほうしき<sup>ほうしき</sup>方式<sup>ごうけいち</sup>）の場合<sup>ばあい</sup>、有効回答数<sup>ゆうこうかいとうすう</sup>に対して選択肢<sup>せんたくし</sup>ごとの回答数<sup>かいとうすう</sup>の割合<sup>わりあい</sup>を示<sup>しめ</sup>しています。そのため、合計<sup>ごうけい</sup>が100.0%を超える場合<sup>こ</sup>があります<sup>ばあい</sup>。
- 図表<sup>ずひょうちゅう</sup>中<sup>ちゅう</sup>において「無回答<sup>むかいとう</sup>・不明<sup>ふめい</sup>」と記載<sup>きざい</sup>されているものは、アンケート内<sup>ない</sup>に回答<sup>かいとう</sup>が示<sup>しめ</sup>されていない、または回答<sup>かいとう</sup>の判別<sup>はんべつ</sup>が困難<sup>こんなん</sup>なものです。
- 図表<sup>ずひょうちゅう</sup>中<sup>ちゅう</sup>の「回答数<sup>かいとうすう</sup>=数字<sup>すうじ</sup>」は集計対象者総数<sup>しゅうけいたいしょうしやそうすう</sup>（あるいは回答者限定設問<sup>かいとうしやげんていせつもん</sup>の限定条件<sup>げんていじょうけん</sup>に該当<sup>がいとう</sup>する人<sup>ひと</sup>）をあらわ<sup>あらわ</sup>しています。

### 3. 回答いただいた方の状況

○ このアンケートは、誰がご記入されましたか。

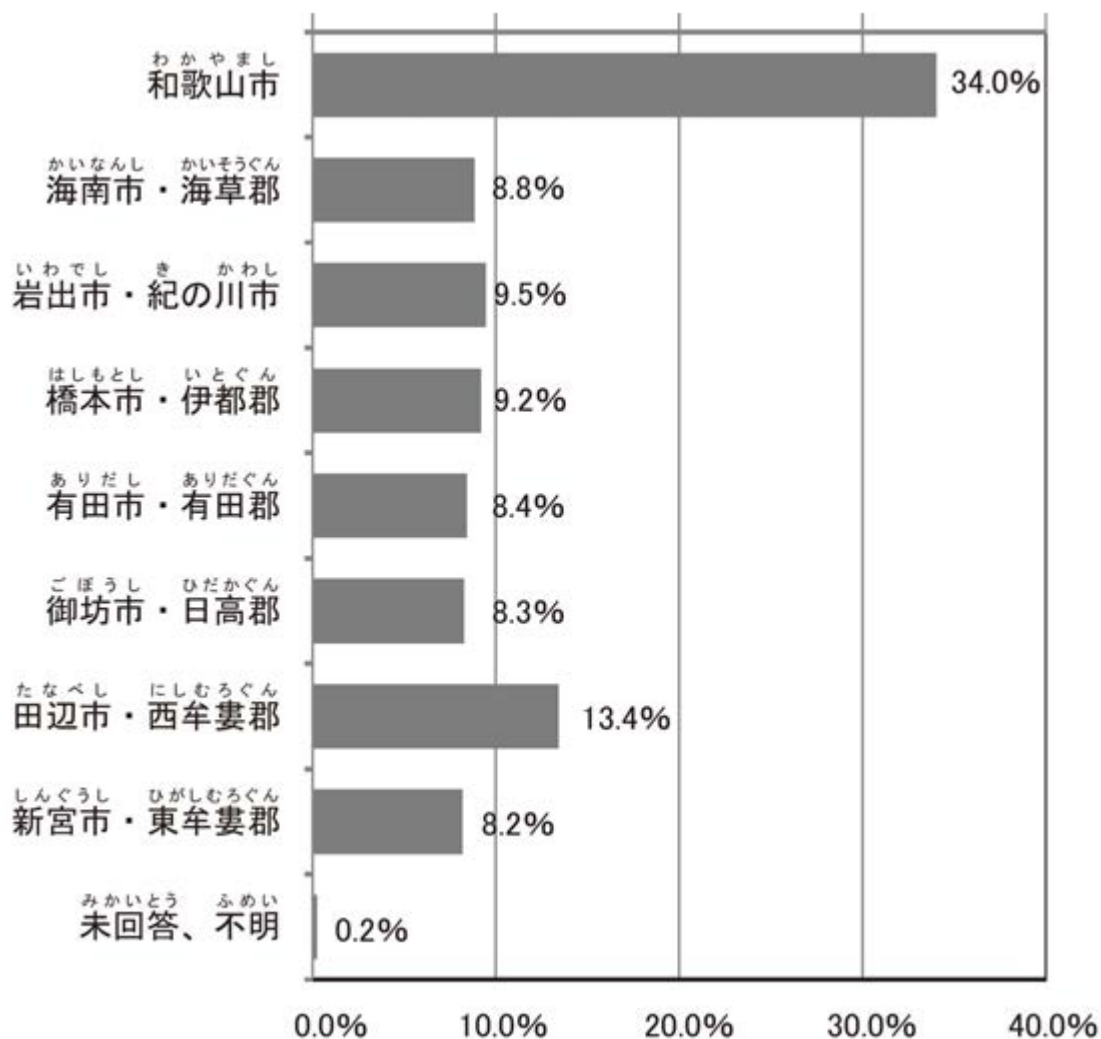
記入された方については、59.6%の方がアンケートをご自身で記入されています。次いで多かったのが「本人の家族」で34.4%となっています。



回答数=2,854

○ お住まいの<sup>す</sup>地域<sup>ちいき</sup>はどこですか。

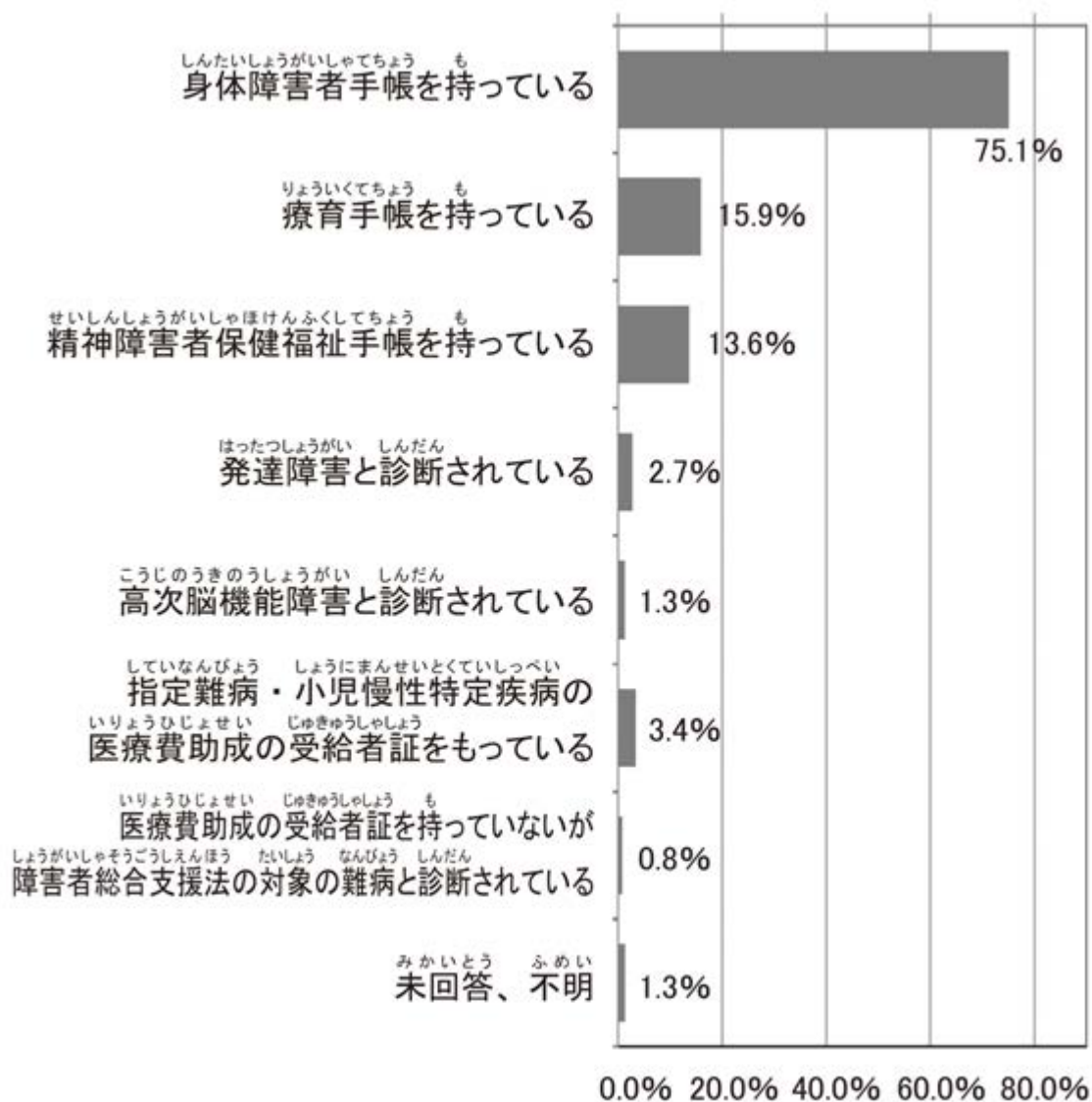
「<sup>わかやまし</sup>和歌山市」にお住まいの方が<sup>かた</sup>最も<sup>もっと</sup>多く<sup>おお</sup>34.0%でした。<sup>つ</sup>次いで<sup>おお</sup>多かったのが「<sup>たなべし</sup>田辺市、<sup>にしむろぐん</sup>西牟婁郡」で13.4%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854

○ あなたがお持ちの障害者手帳や障害の診断などについておたずねします（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「身体障害者手帳を持っている」方が最も多く、75.1%でした。次いで多いのが「療育手帳を持っている」方が15.9%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」方が13.6%となりました。

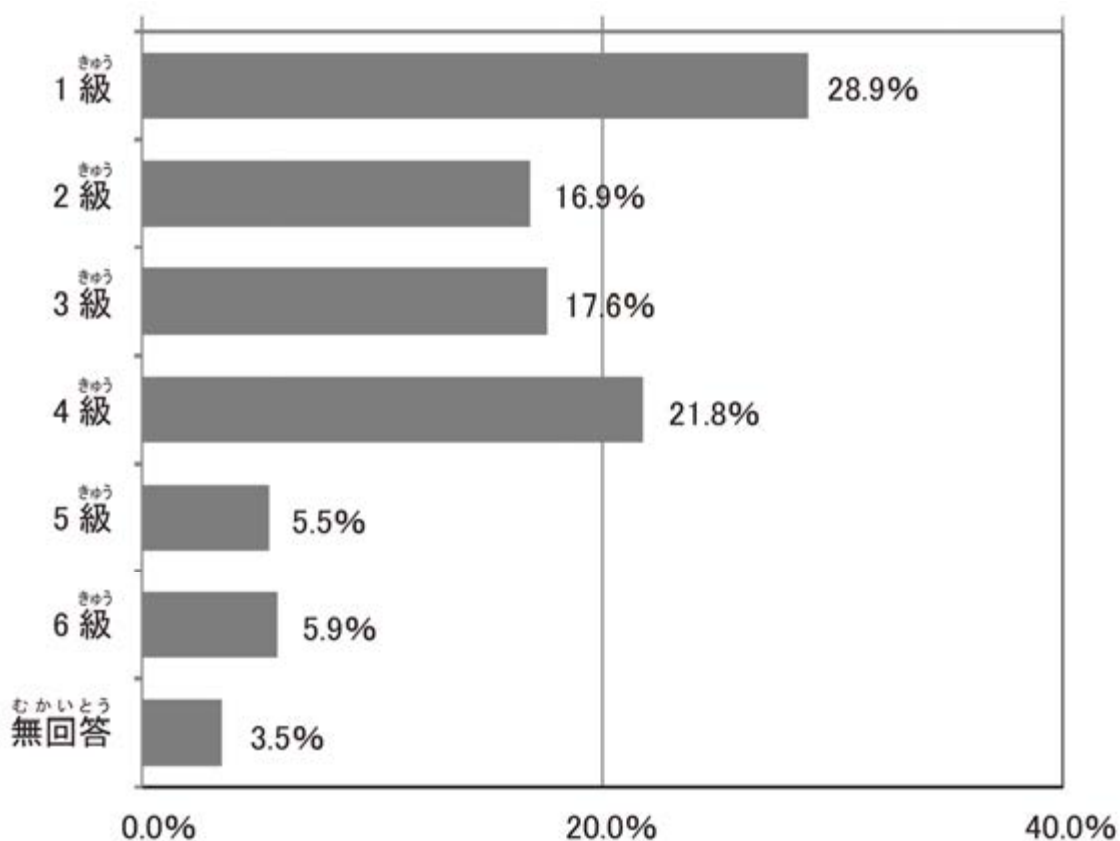


かいとうすう  
回答数=2,854

○ 身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。

(1) 総合の等級は次のうちどれですか（1つに○をしてください）。

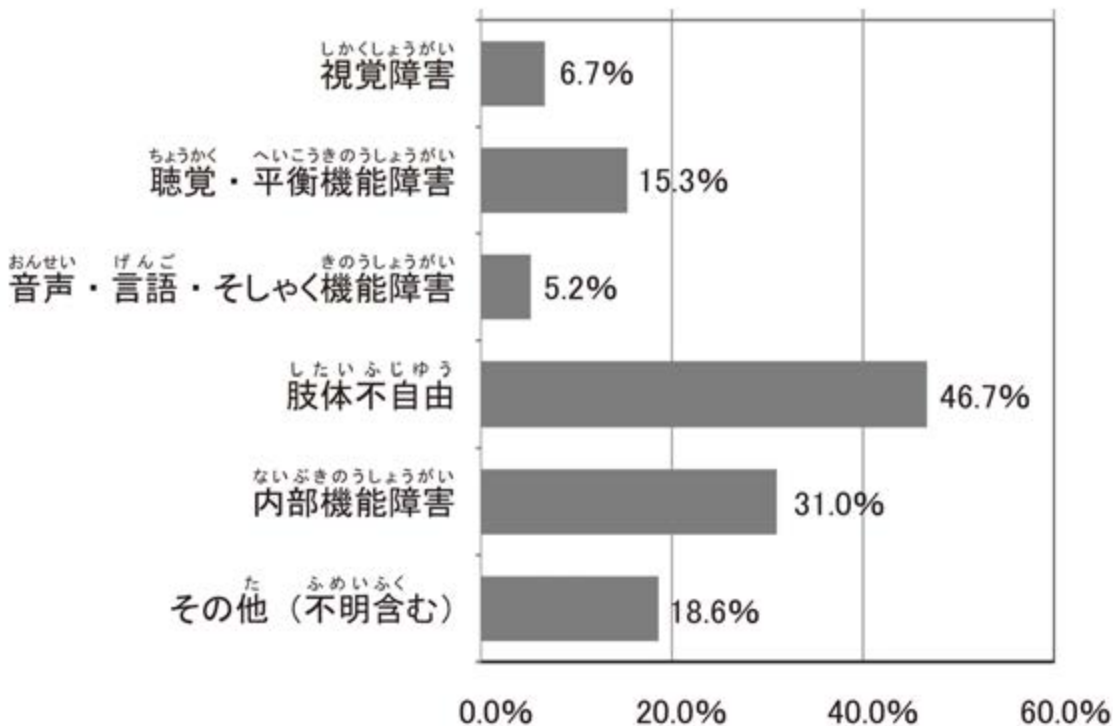
最も多いのが「1級」で28.9%、次いで多いのが「4級」で21.8%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,142

(2) 障害の種類をお答えください（あてはまるもの全てに○をしてください）。

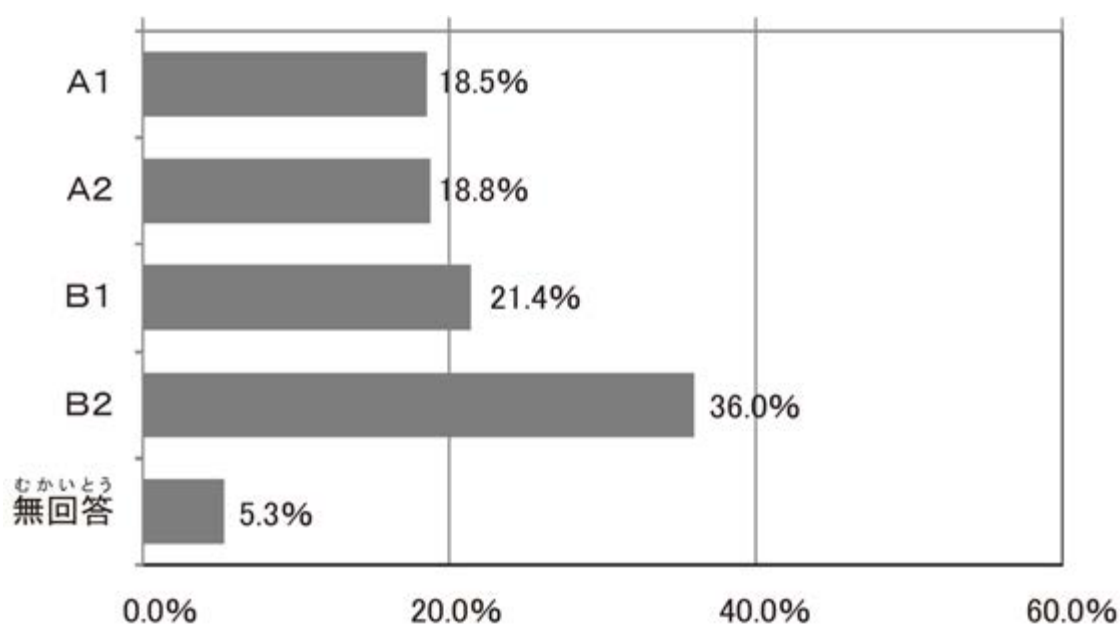
最も多いのが「肢体不自由」で46.7%、次いで多いのが「内部機能障害」で31.0%、「聴覚・平衡機能障害」で15.3%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,142

○ 療育手帳をお持ちの方におたずねします。障害程度は次のうちどれですか（1つに○をしてください）。

療育手帳をお持ちの方の中で、最も多いのが「B2」の療育手帳を持っている方で36.0%、次いで「B1」の21.4%、「A2」の18.8%と続きました。

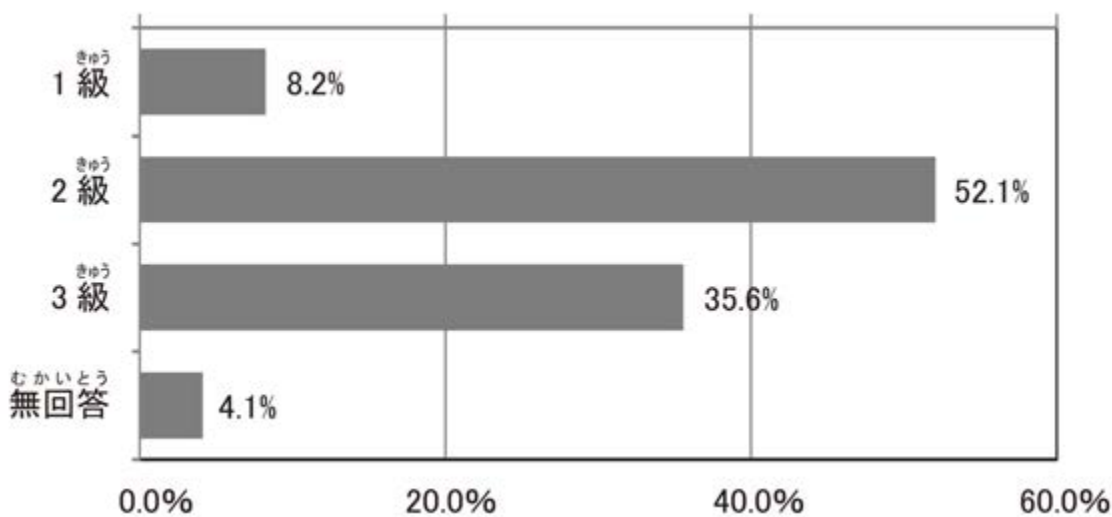


かいとうすう  
回答数=453



○ 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方におたずねします。等級は次のうちどれですか（1つに○をしてください）。

精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方の中で、最も多いのが「2級」で52.1%、次いで多いのが「3級」で35.6%、「1級」で8.2%となりました。

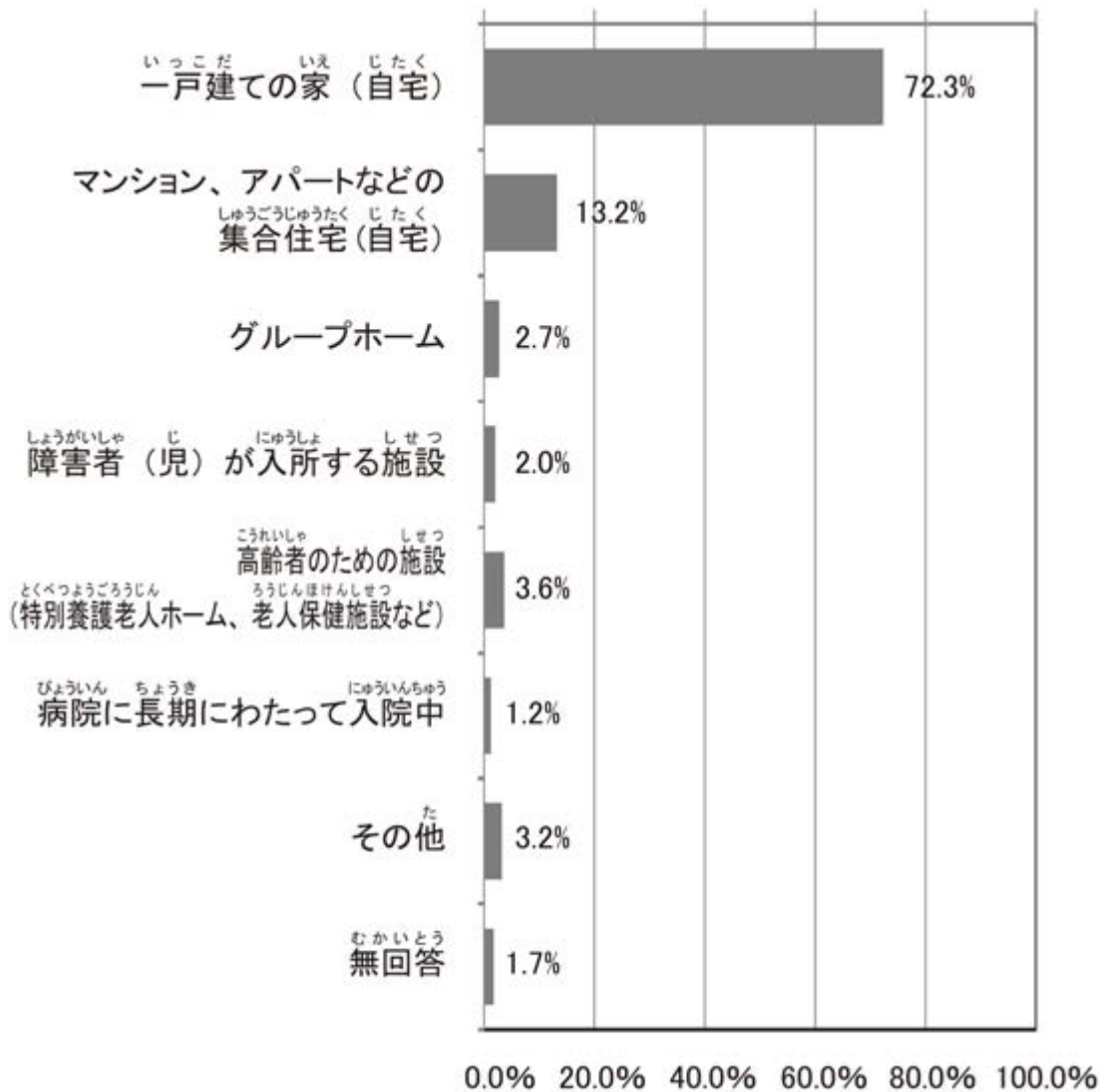


かいとうすう  
回答数=388

#### 4. お住まい

○ あなたのお住まいは、次のうちどれですか（1つに○をしてください）。

もっともおもったのが「一戸建ての家（自宅）」にお住まいの方で 72.3% でした。次いで多かったのが「マンション、アパートなどの集合住宅（自宅）」で 13.2%と続きました。自宅に住んでいる方は合わせて、85.5%となりました。

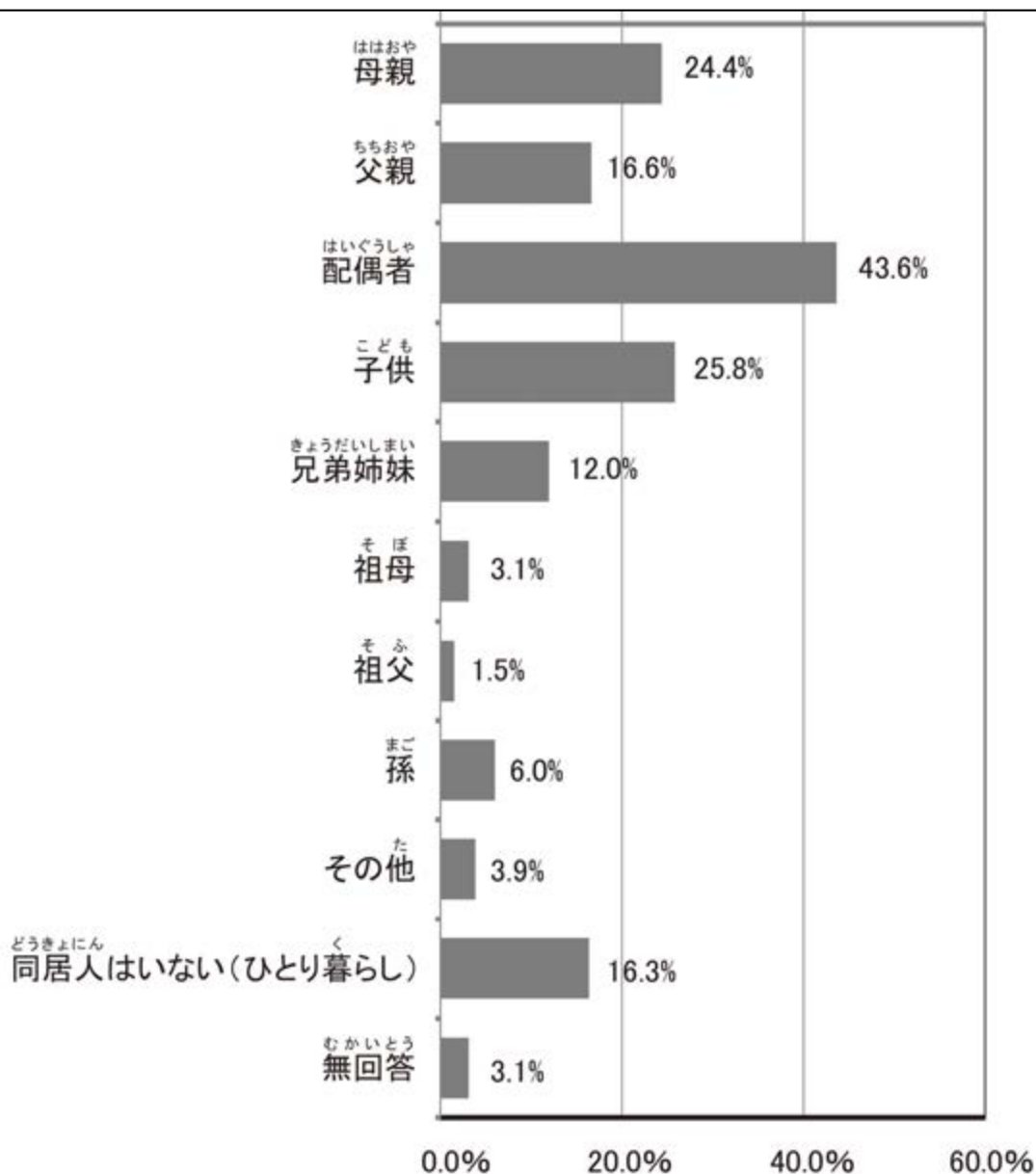


かいとうすう  
回答数=2,854

○ 「一戸建ての家（いっこだ いえ じたく自宅）」または「マンション・アパートなどの集合住宅（しゅうごうじゅうたく集合住宅）」を回答された方におたずねします。

同居しているご家族の方についてお答えください（あてはまるもの全てに○をしてください）。

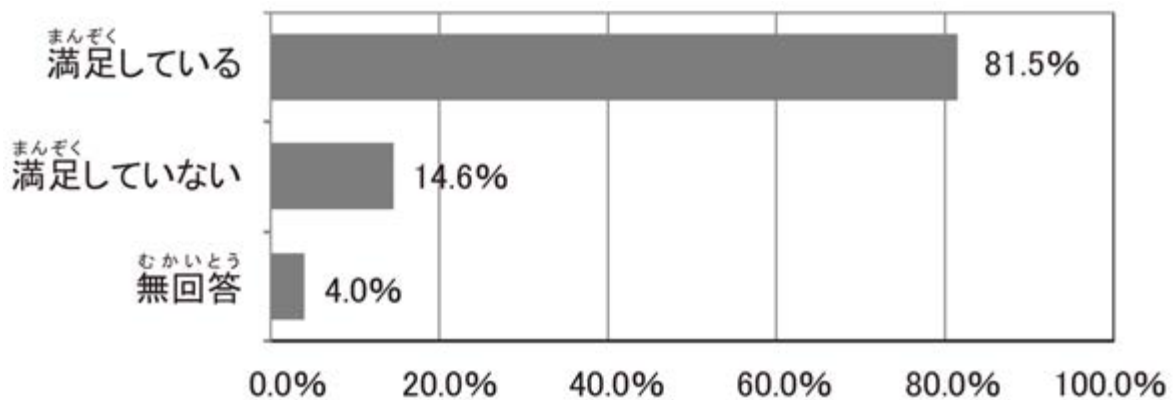
最も多かったのが「配偶者」と同居している方で43.6%でした。次いで多かったのが「子供」と同居で25.8%、母親と同居で24.4%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,441

○ あなたは<sup>いま</sup> <sup>す</sup>住んでいるところに<sup>まんぞく</sup>満足していますか。(1つに○をしてください。なお、「<sup>まんぞく</sup>満足していない」<sup>ばあい</sup>場合、その<sup>りゆう</sup>理由も<sup>おし</sup>教えてください)。

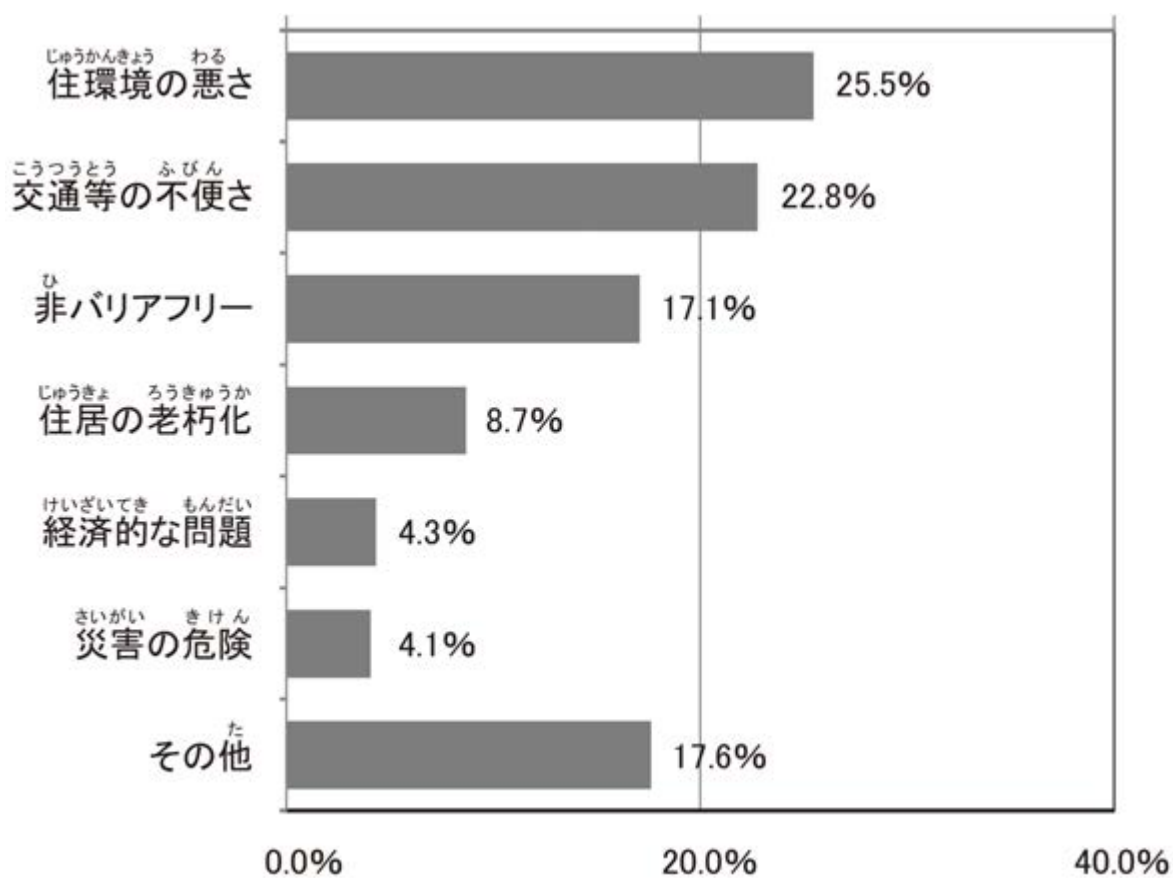
<sup>いま</sup> <sup>す</sup>今、住んでいるところに「<sup>まんぞく</sup>満足している」<sup>かた</sup>方のほうが<sup>おお</sup>多く<sup>ぜんたい</sup>全体の81.5%となりました。



<sup>かいとうすう</sup>回答数=2,854

○「満足していない」と回答された方の理由

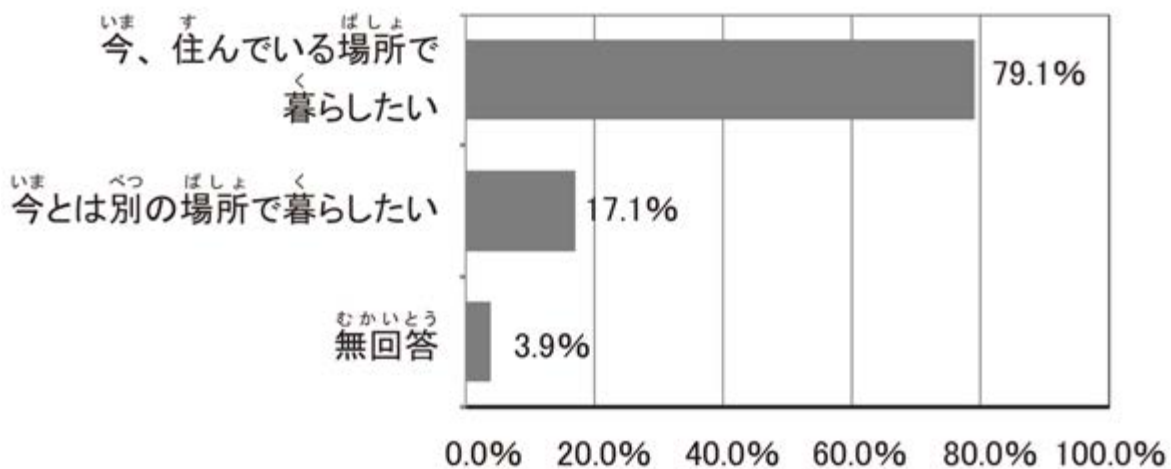
今住んでいるところに「満足していない」理由として「住環境の悪さ」が最も多く 25.5%、次いで多かったのが「交通等の不便さ」で 22.8% となりました。



回答数=369

○ あなたは将来、どのような暮らしをしたいと思いますか（どちらかに○をしてください）。

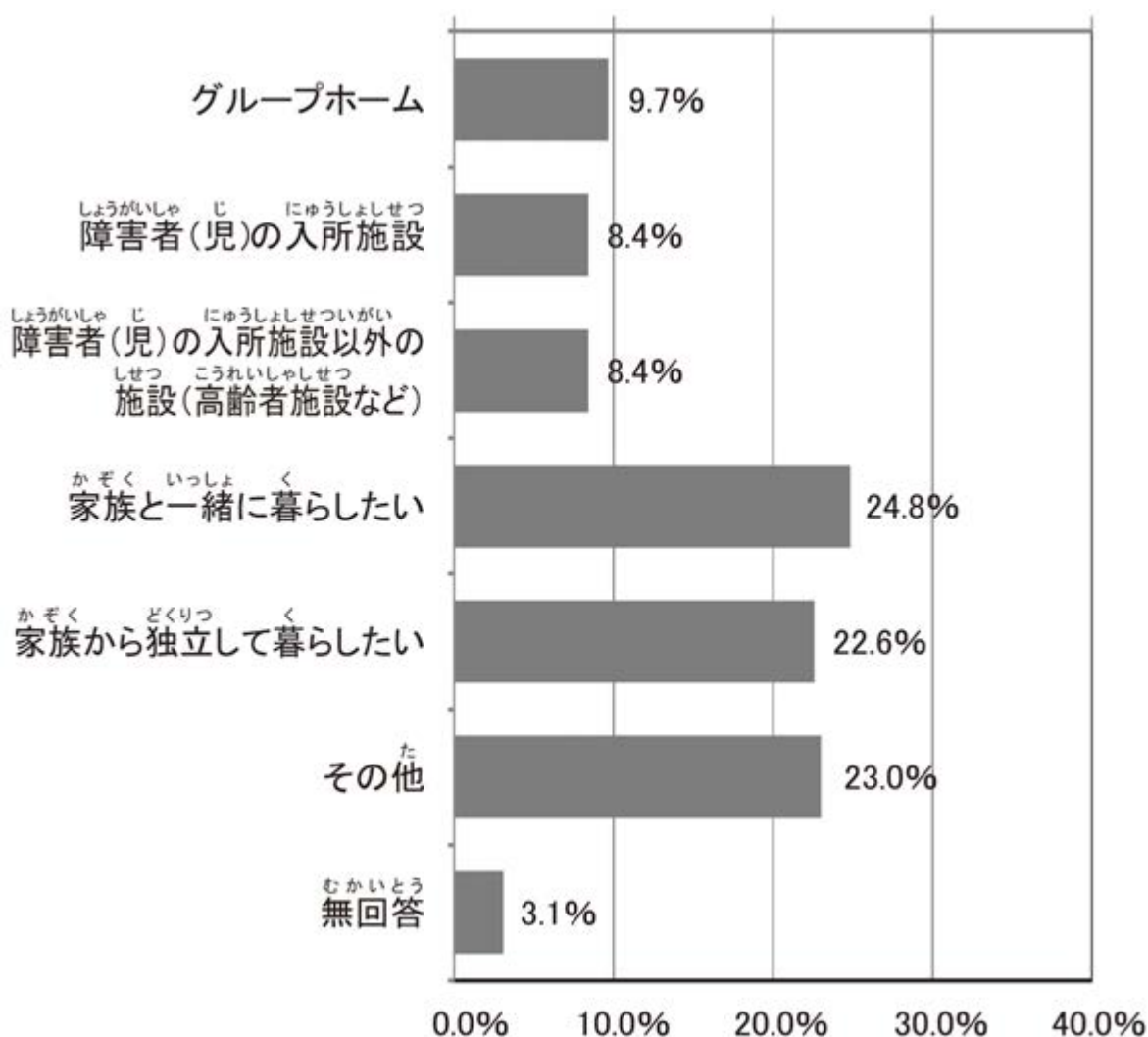
将来にわたり、「今、住んでいる場所で暮らしたい」と思っている方のほうが多く、割合は79.1%でした。



かいとうすう  
回答数=2,854

○ 「今とは別の場所で暮らしたい」と回答された方におたずねします（1つに○をしてください）。

前問で「今とは別の場所で暮らしたい」と回答された方の中で、「家族と一緒に暮らしたい」と回答された方が最も多く、24.8%でした。また、その反面「家族から独立して暮らしたい」と回答された方も次いで多く、22.6%となりました。

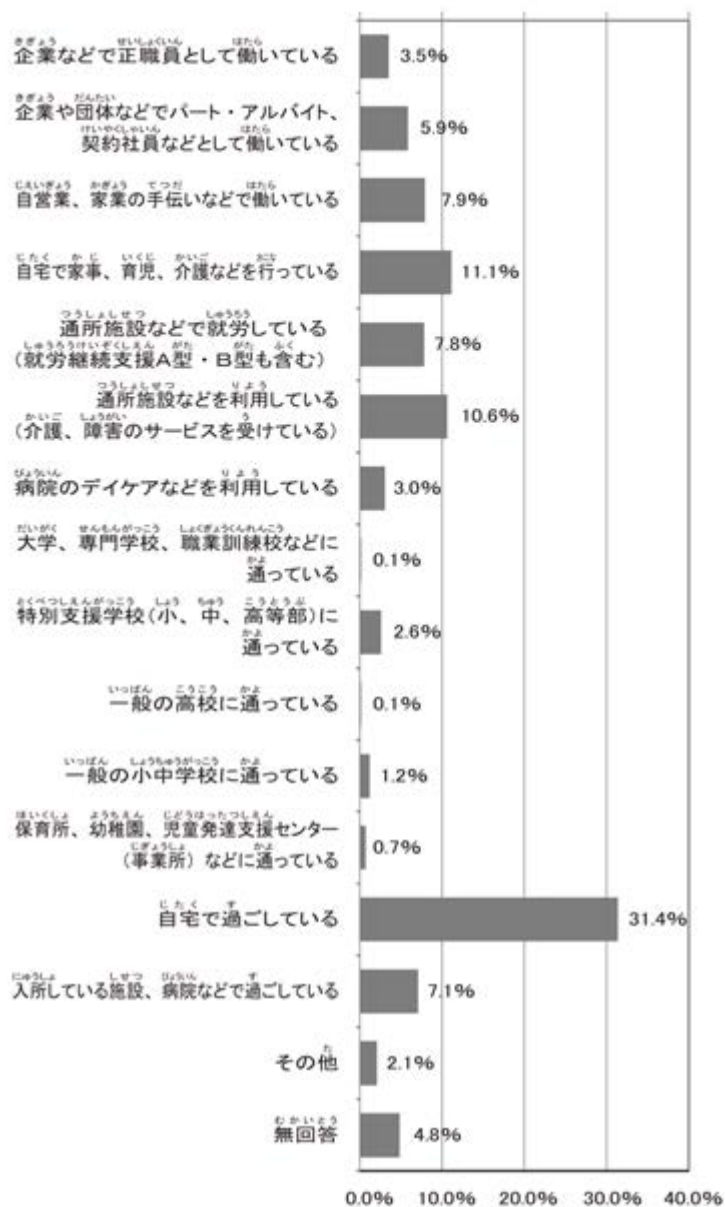


かいとうすう  
回答数=487

## 5. 日常生活

○ 日中の過ごし方についておたずねします。あなたは平日の日中(昼間)、主にどのようにお過ごしですか。

最も多いのが、「自宅で過ごしている」で31.4%、次いで多いのが、「自宅で家事、育児、介護などを行っている」が11.1%、「通所施設などを利用している(介護、障害のサービスを受けている)」が10.6%となりました。

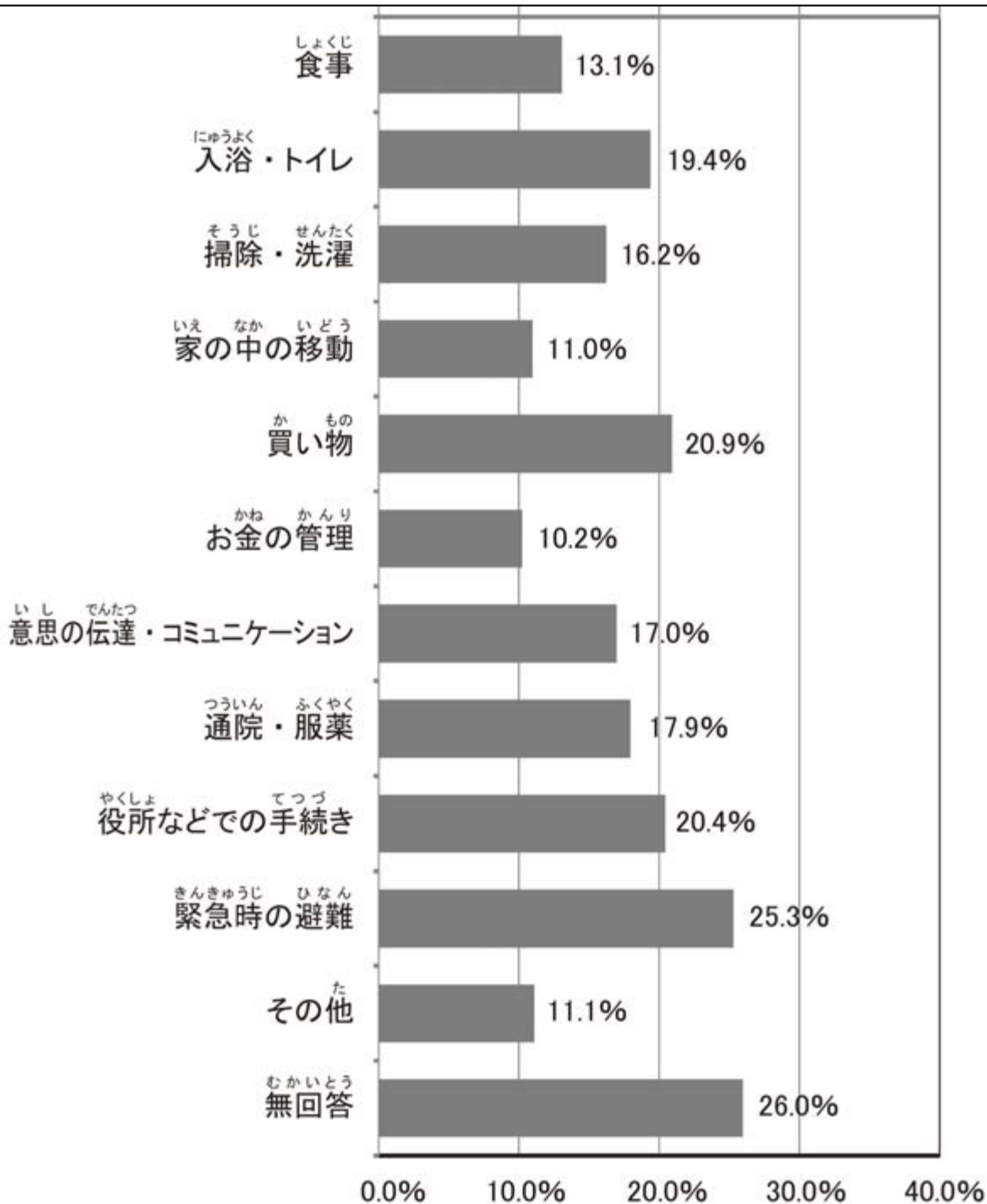


かいとうすう  
回答数=2,854



○ あなたは<sup>ふだん</sup>普段の生活の中で、<sup>こま</sup>困っていること（<sup>ふあん</sup>不安に<sup>おも</sup>思っていること）は  
 ありますか（<sup>すべ</sup>あてはまるもの<sup>すべ</sup>全てに○をしてください）。

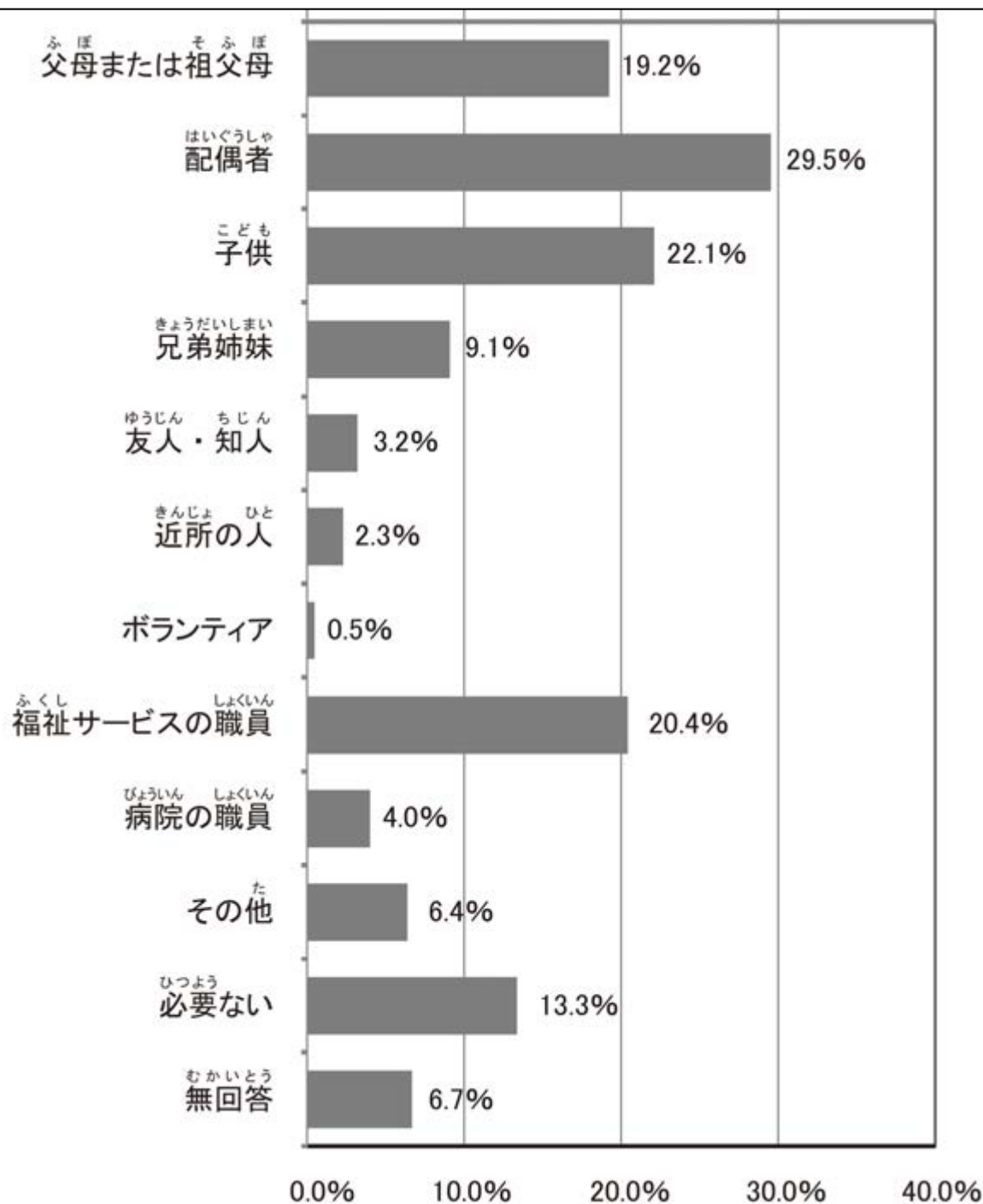
<sup>もっと</sup>最も多いのが、「<sup>きんきゅうじ</sup>緊急時の<sup>ひなん</sup>避難」で 25.3%、<sup>つ</sup>次いで多いのが、「<sup>か</sup>買い物」  
 が 20.9%、「<sup>やくしょ</sup>役所などでの<sup>てつづ</sup>手続き」が 20.4%となりました。



かいとうすう  
 回答数=2,854

○ あなたの生活を主に介助・支援しているのは誰ですか（多い人に3つまで  
○をしてください）。

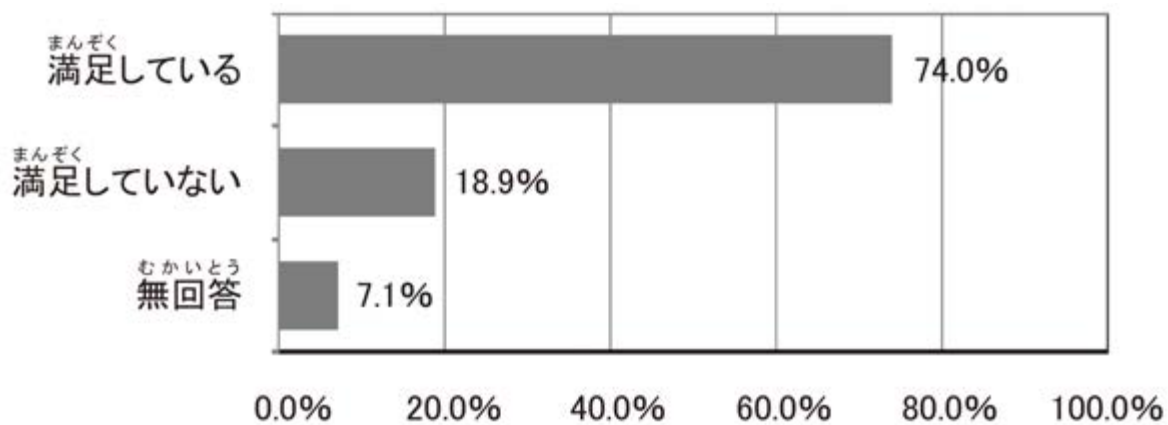
最も多いのが、「配偶者」で29.5%、次いで多いのが「子供」で22.1%、  
「福祉サービスの職員」で20.4%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854

○ あなたは日中の過ごし方について、満足していますか。

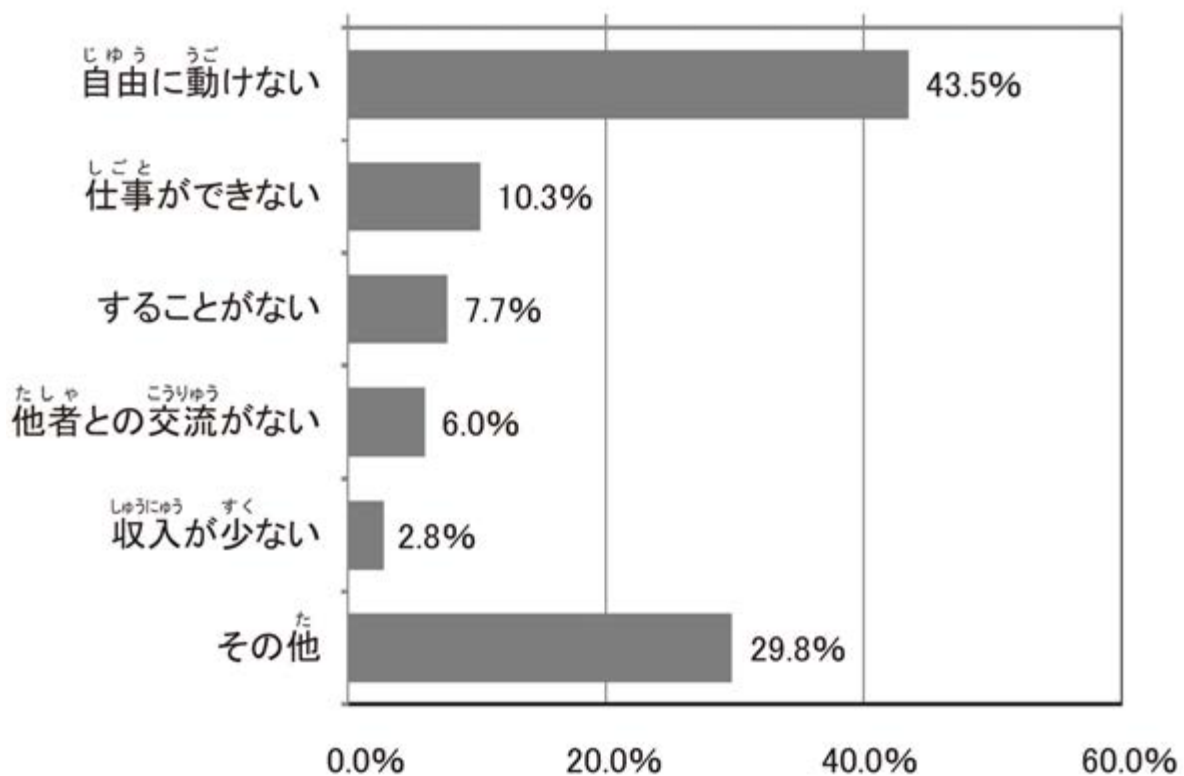
「満足している」と回答された方が多く、割合は 74.0%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854

○「満足していない」と回答された方の理由

「満足していない」と回答された理由で、最も多いのが「自由に動けない」で、割合は43.5%、次いで多かったのが「仕事ができない」で10.3%となりました。



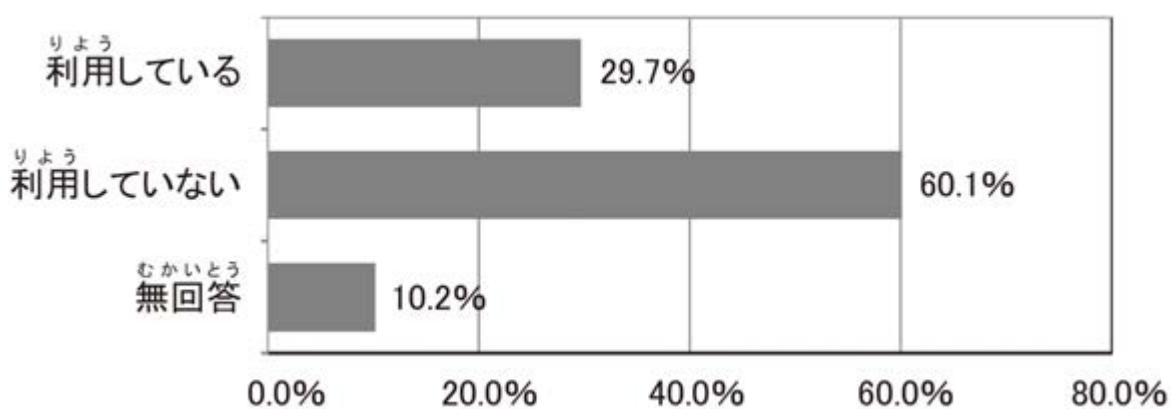
回答数=467

その他には、「障害があることで、周りの人とのコミュニケーションがうまくできない」「もう少し外に出て活動的になりたい」「将来のことを考えると不安」との回答がありました。

## 6. 障害福祉サービスの利用

- あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか（あてはまるもの1つに○をしてください）。

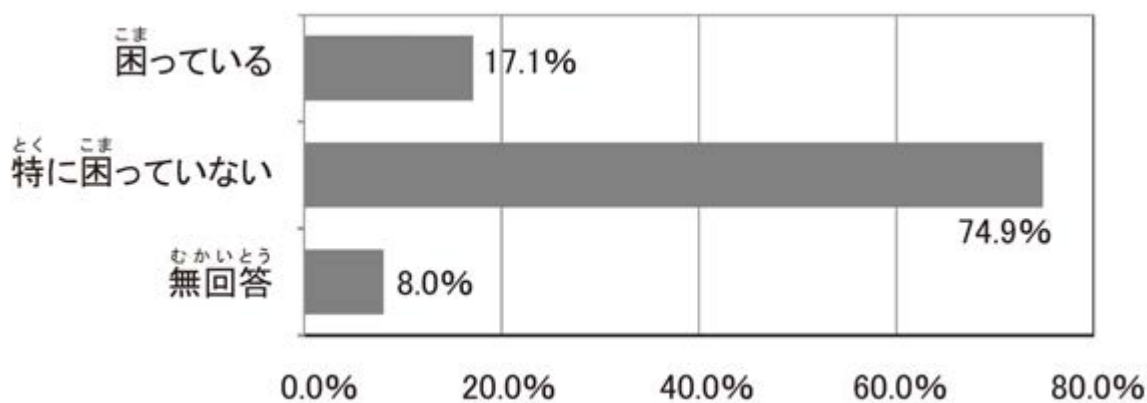
「利用していない」と回答された方が多く、割合は60.1%となりました。



回答数=2,854

○「利用している」とお答えいただいた方におたずねします。現在、障害福祉サービスを利用するにあたり、困っていることはありますか（あてはまるもの1つに○をしてください）。

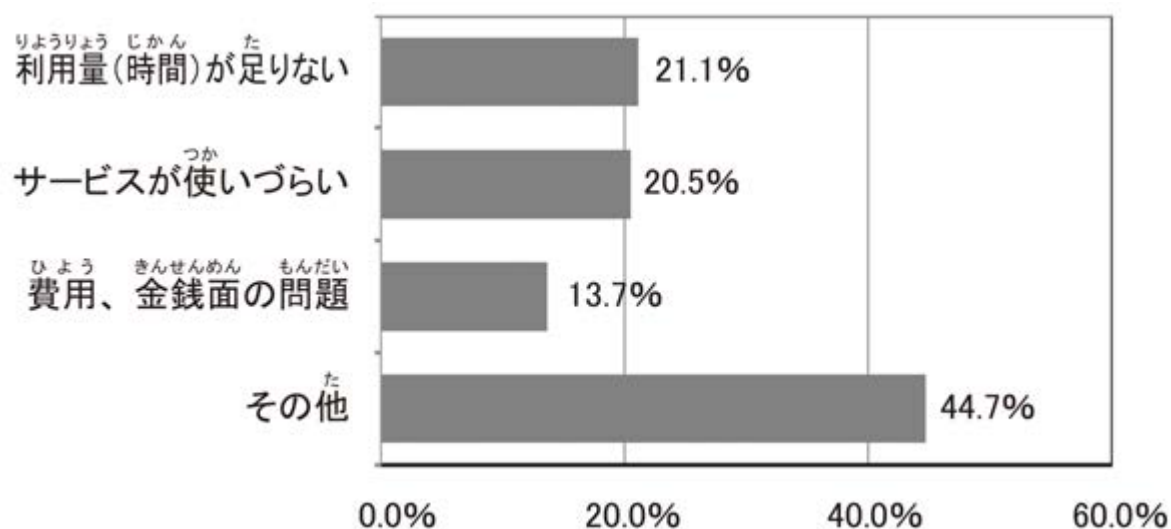
障害福祉サービスを利用している方の内、「特に困っていない」と回答された方のほうが多く、割合は74.9%となりました。



回答数=847

○「<sup>こま</sup>困っている」と回答された方が回答した<sup>こま</sup>困っている内容

<sup>こま</sup>困っている内容として、<sup>もっと</sup>最も多かったのが「<sup>りようりょう</sup>利用量（<sup>じかん</sup>時間）が<sup>た</sup>足りない」  
で、割合は21.1%となりました。<sup>つ</sup>次いで多かったのが「<sup>サービス</sup>サービスが<sup>つか</sup>使いづ  
<sup>らい</sup>らい」で20.5%となりました。



かいとうすう  
回答数=161

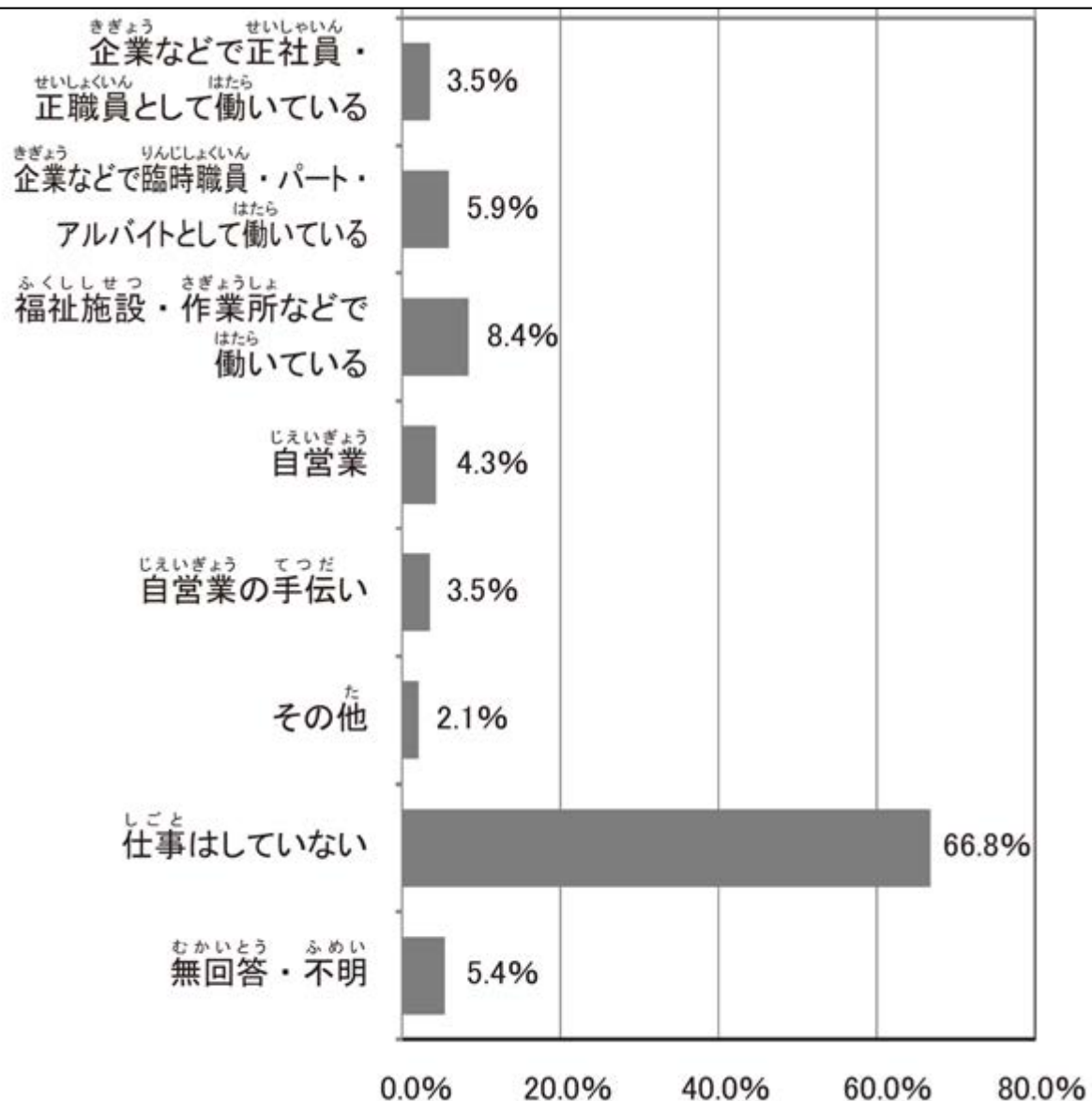
その他には、「<sup>ほかに</sup>福祉サービスのメニュー<sup>ぜんたい</sup>全体が<sup>りかい</sup>理解できない」「<sup>じぎょうしょ</sup>事業所まで  
の<sup>こうつう</sup>交通の<sup>べん</sup>便が<sup>わる</sup>悪い」<sup>など</sup>等の<sup>かいとう</sup>回答がありました。

## 7. お仕事

○ あなたのお仕事についておたずねします。

(1) あなたは今、仕事に就いていますか。

最も多いのが「仕事はしていない」、と回答された方で、割合は 66.8% となりました。次いで多いのが「福祉施設・作業所などで働いている」で割合は 8.4% となりました。

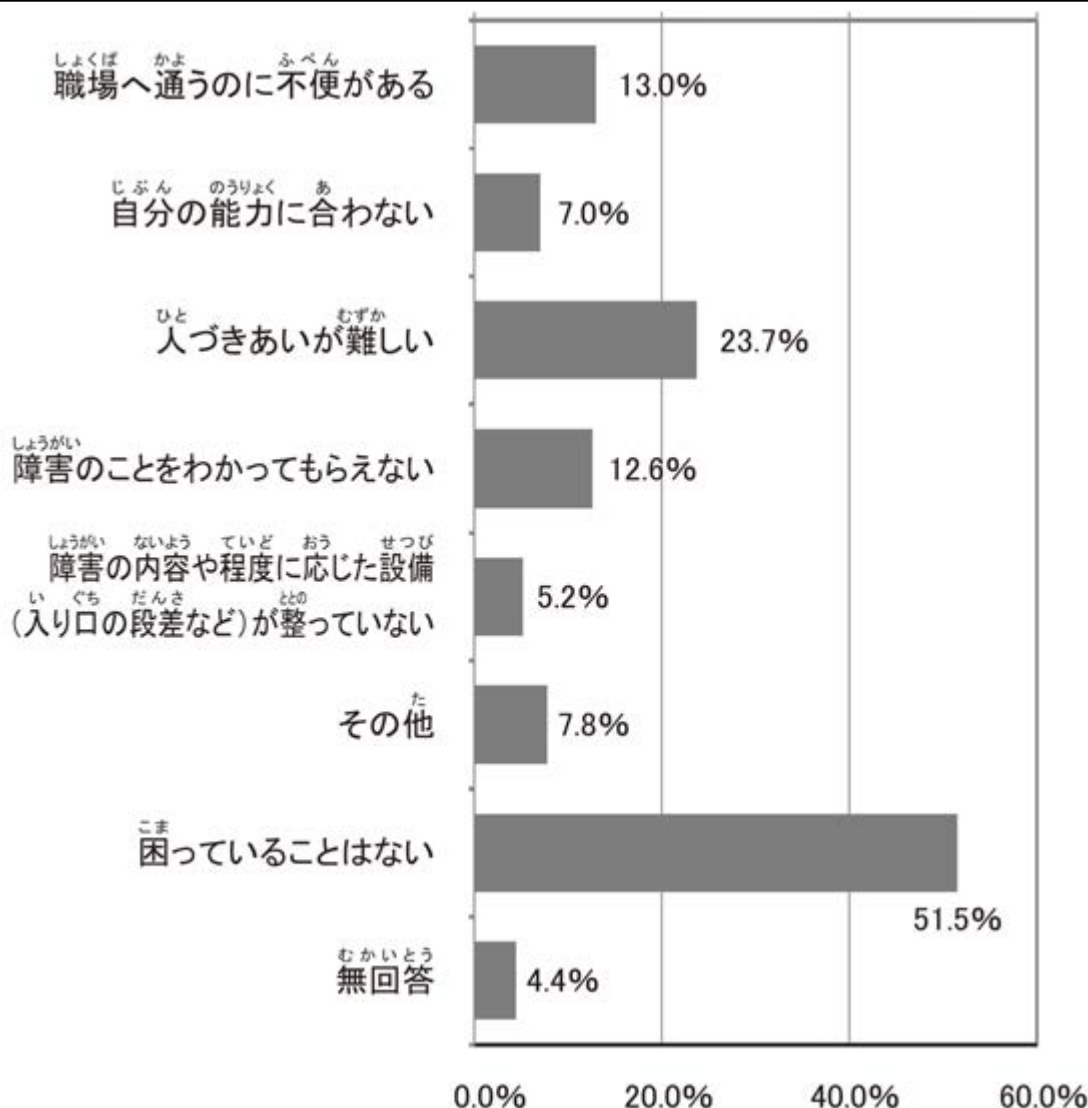


かいとうすう  
回答数=2,854



(2) 「企業などで正社員・正職員として働いている」「企業などでパートアルバイトとして働いている」とお答えいただいた方に、おうかがいします。仕事をしごとをしていて、困こまっていることはありますか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

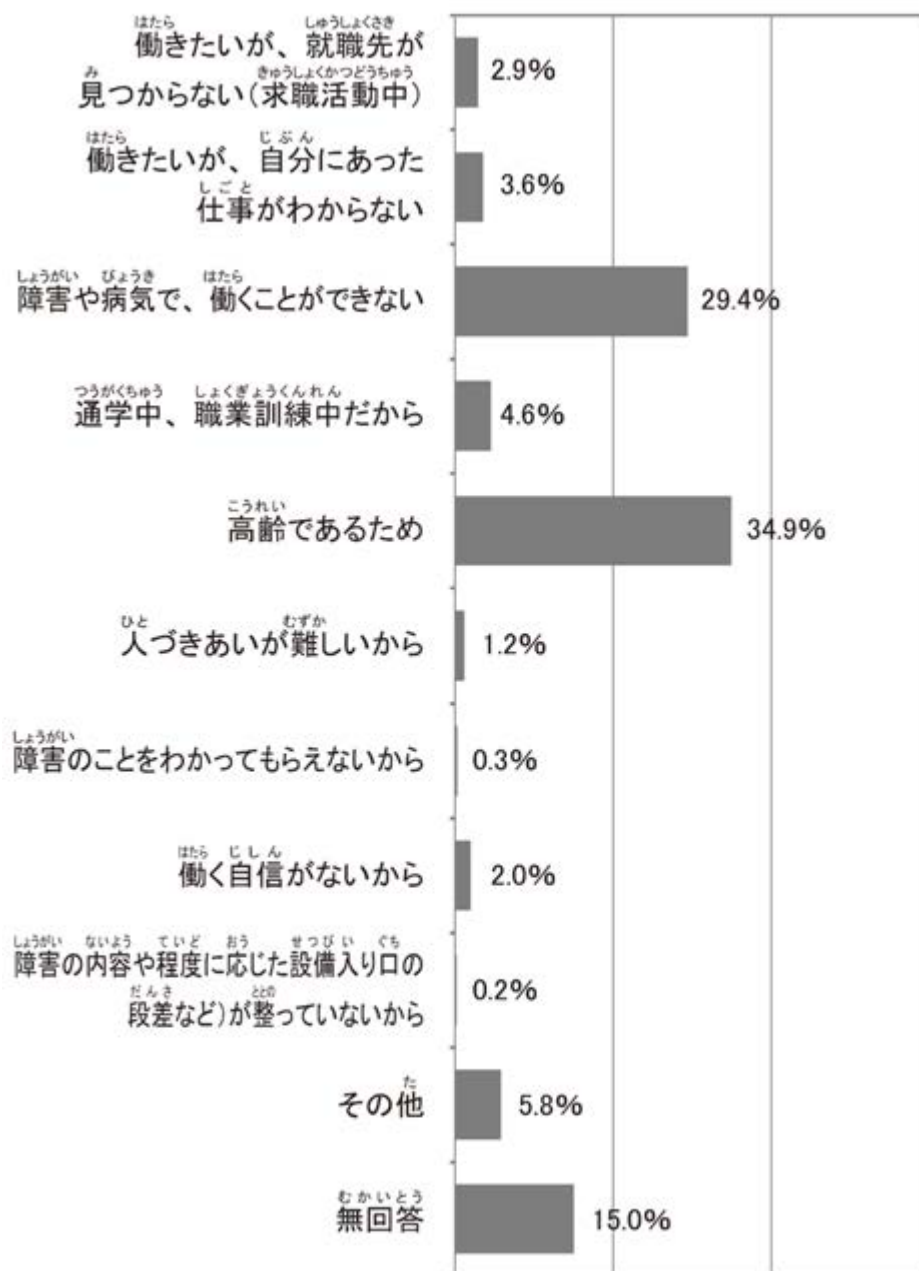
「困こまっていることはない」の割合は51.5%となりました。困こまっていることがある方の中で最も多いのが、「人づきあいが難むずかしい」で23.7%、次いで多いのが「職場へ通うのに不便ふべんがある」で13.0%となりました。



かいとうすう  
回答数=270

(3) (1) の質問で、「仕事はしていない」とお答えいただいた方におうかがいします。今、あなたがお仕事に就かれていない理由はなんですか（1つに〇をしてください）。

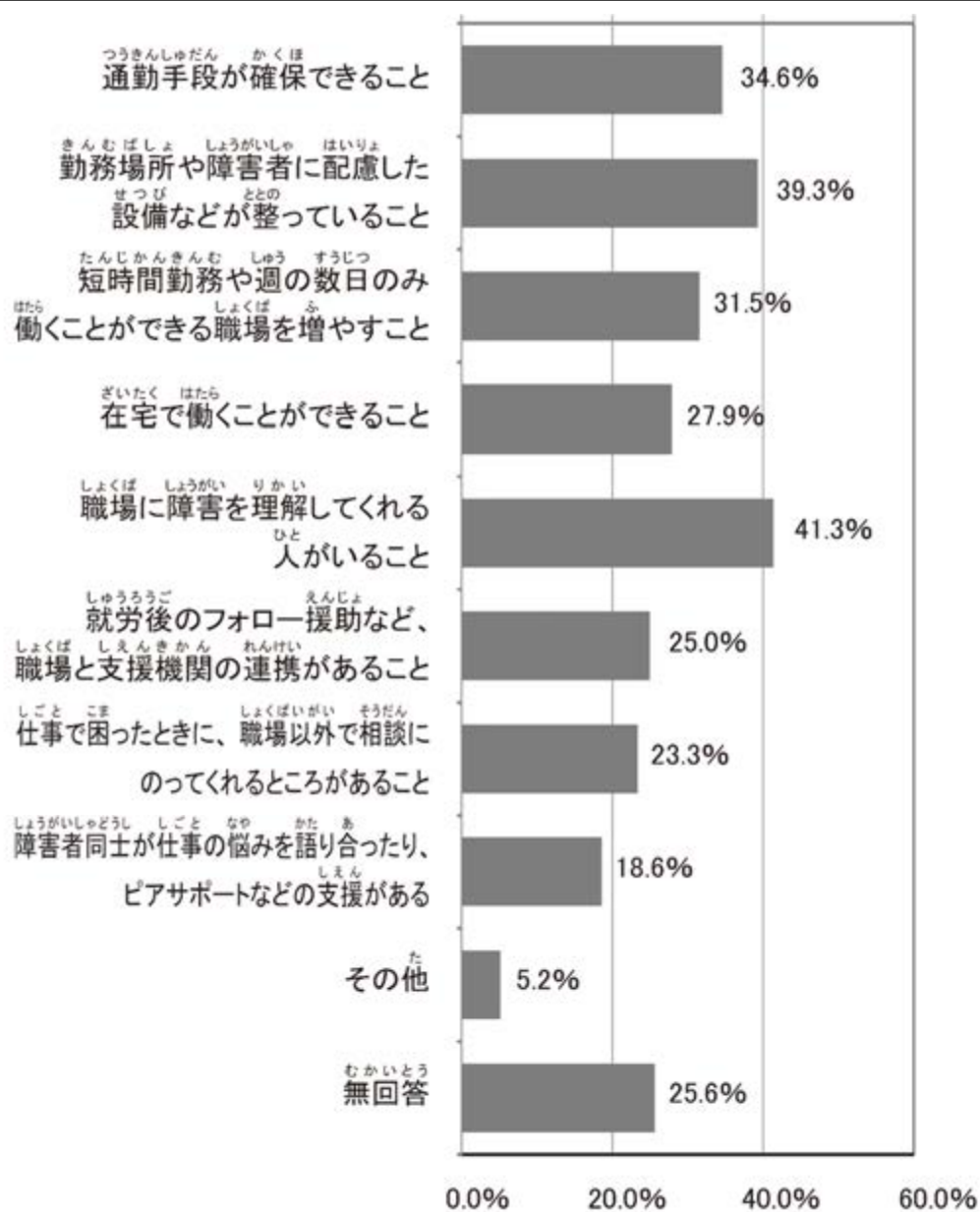
最も多いのが「高齢であるため」でその割合は34.9%でした。次いで多いのが「障害や病気で、働くことができない」で29.4%でした。



回答数 = 1,906

○ 全ての方におたずねします。障害者の就労を進めるために、どんなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの全てに○をしてください）

最も多いのが「職場に障害を理解してくれる人がいること」を回答された方でその割合は 41.3%となりました。次いで多いのが「勤務場所や障害者に配慮した設備などが整っていること」で 39.3%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854

## 8. 悩みや相談

○ あなたが日常生活で困ったことや悩むことがあるとき、誰に相談して  
 いますか（多い人に3つまで〇をしてください）。

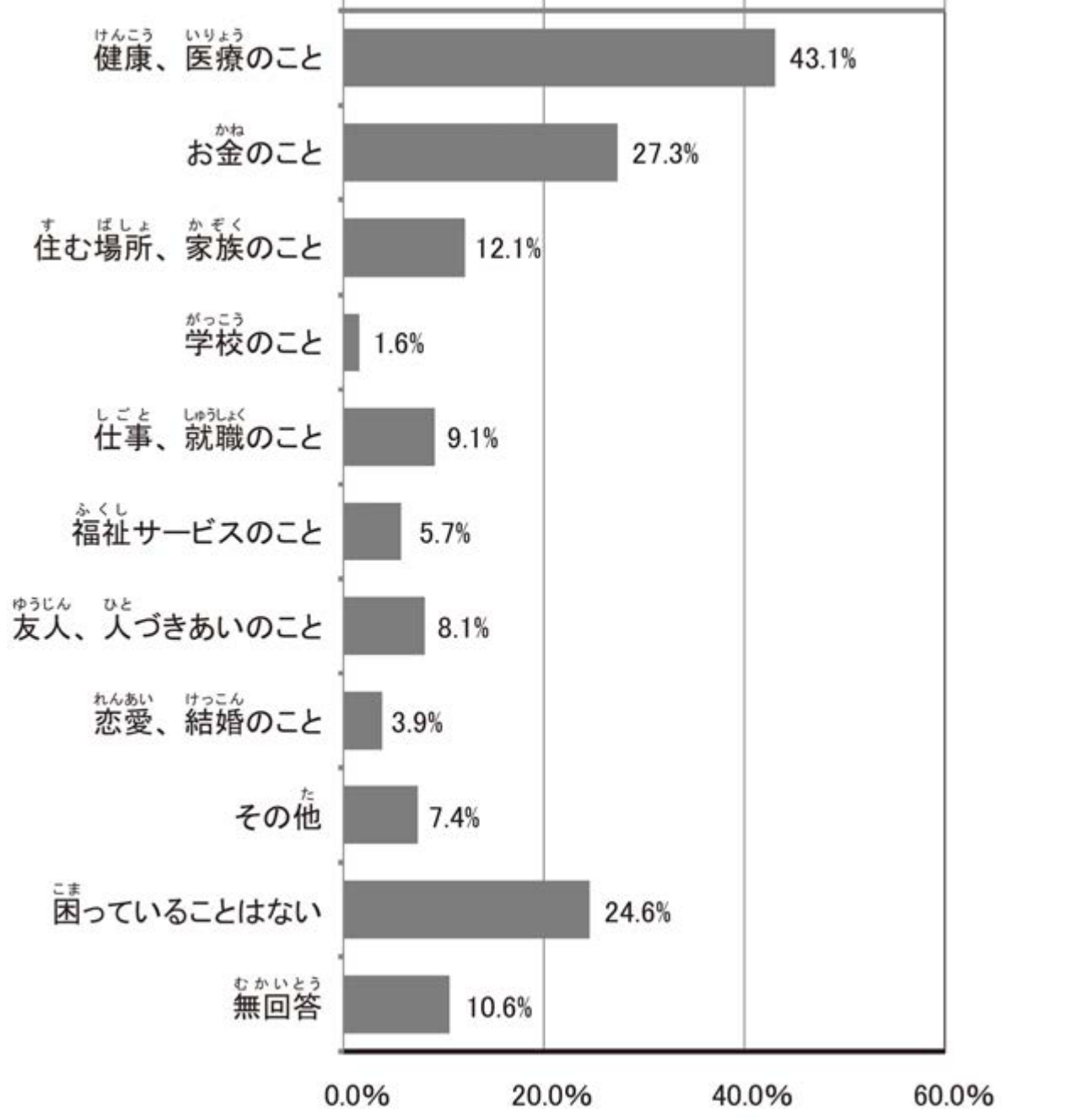
最も多いのが「家族、親せき」で69.0%で、次いで多いのが「友人・知人」  
 で19.1%、「施設の職員など」で15.1%と続きます。



かいとうすう  
 回答数=2,854

○ 今、どんなことに困ったり悩んだりしていますか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

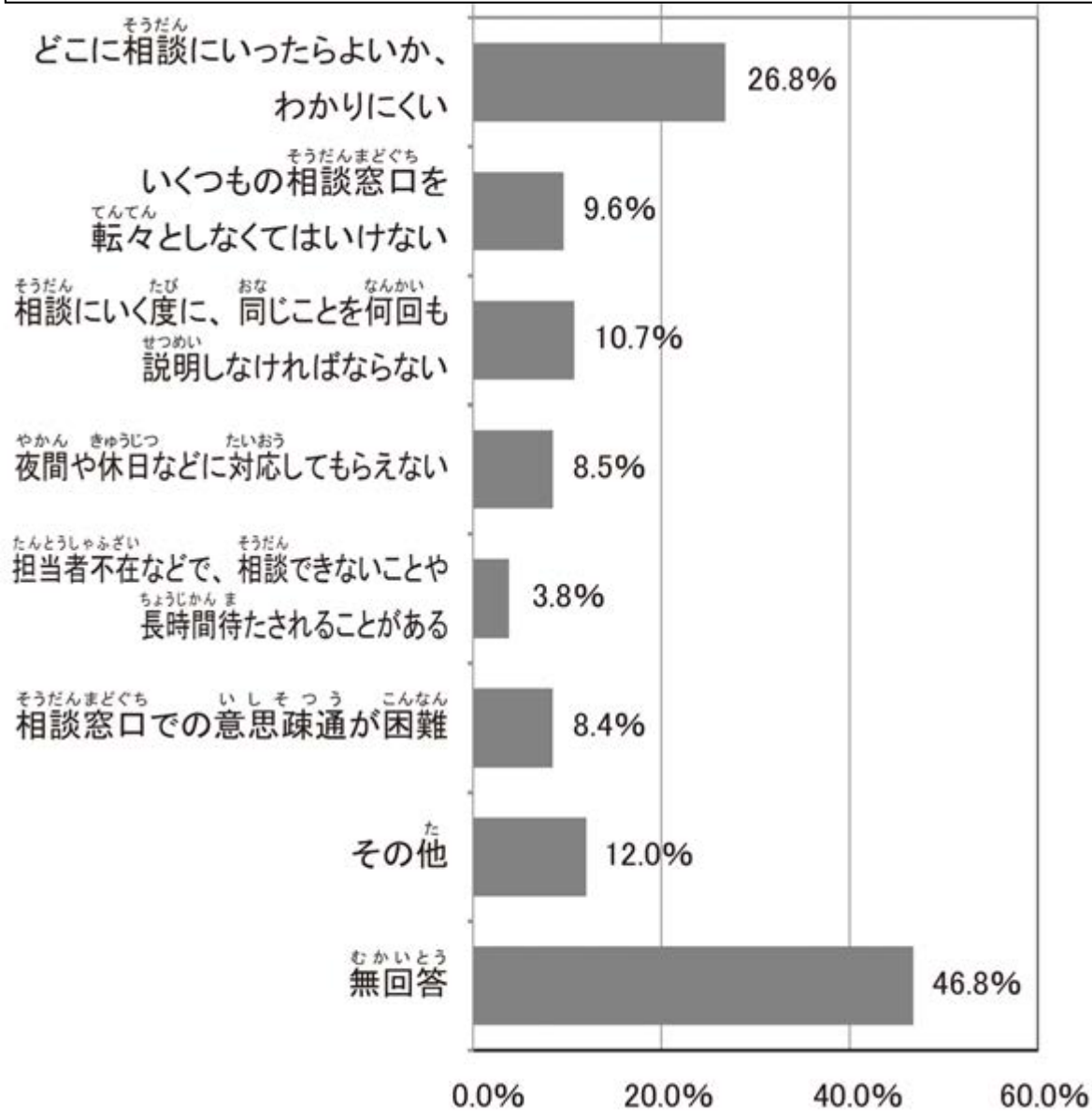
最も多いのが「健康、医療のこと」と回答された方で割合は43.1%となりました。次いで多いのが「お金のこと」で27.3%、「住む場所、家族のこと」で12.1%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854

○ あなたが<sup>やくば</sup>役場などの<sup>そうだんまどぐち</sup>相談窓口を利用するときに、<sup>こま</sup>困ることはありますか  
 (あてはまるもの<sup>すべ</sup>全てに○をしてください)。

もっと <sup>おお</sup>多いのが「どこに<sup>そうだん</sup>相談にいったらよいか、<sup>かいとう</sup>わかりにくい」と回答された方で割合は 26.8%でした。次いで多いのが「相談にいく<sup>たび</sup>度に、<sup>おな</sup>同じことを何回も<sup>なんかい</sup>説明しなければならぬ」で 10.7%、「いくつもの<sup>そうだんまどぐち</sup>相談窓口を<sup>てんてん</sup>転々としなくてははいけない」で 9.6%となりました。

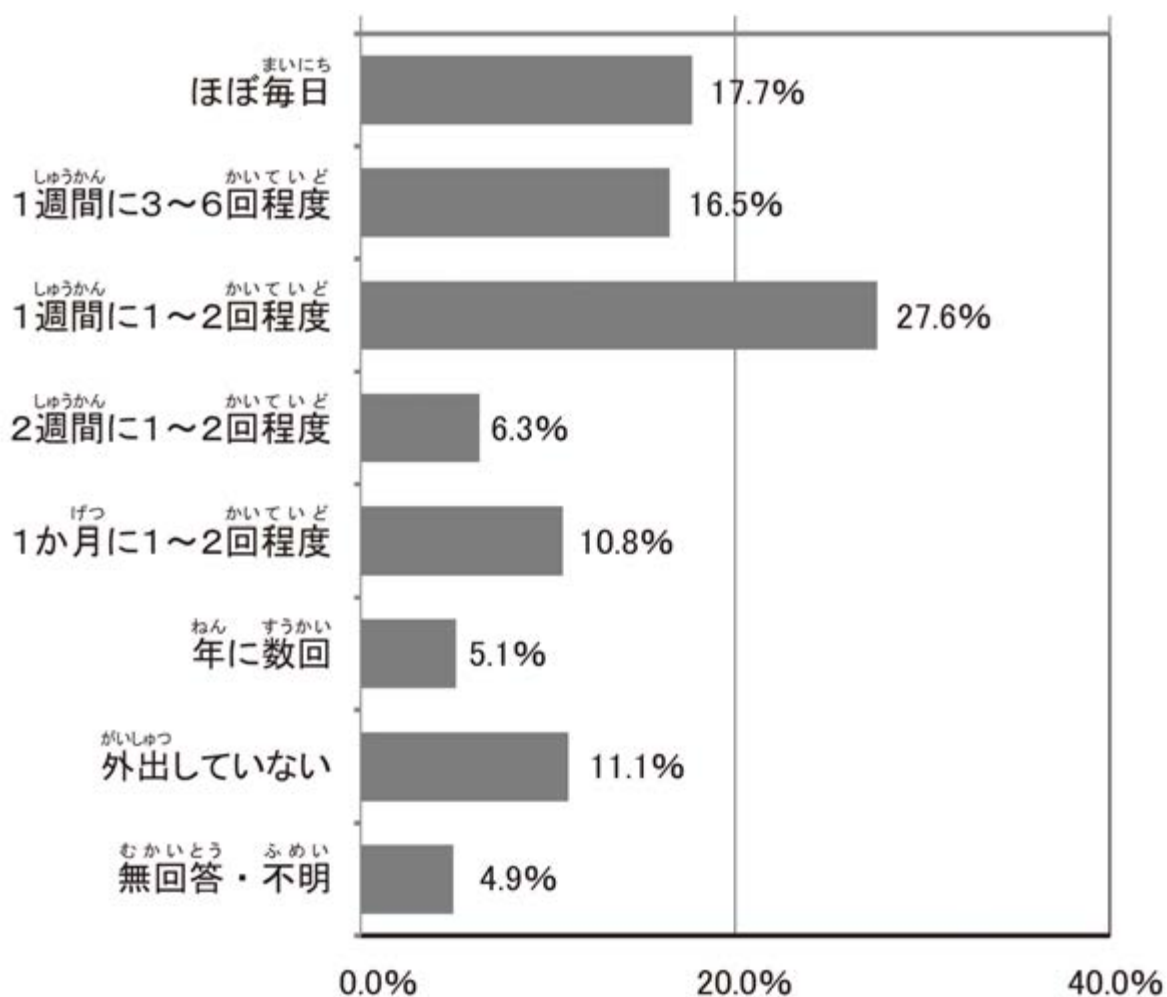


かいとうすう  
 回答数=2,854

## 9. 外出や余暇活動

○ あなたはどのくらい外出していますか（通勤、通学、通院、通所を除く）。

「1週間に1～2回程度」外出される方が最も多く割合は27.6%となりました。次いで多いのが「ほぼ毎日」で17.7%、「1週間に3～6回程度」で16.5%となりました。

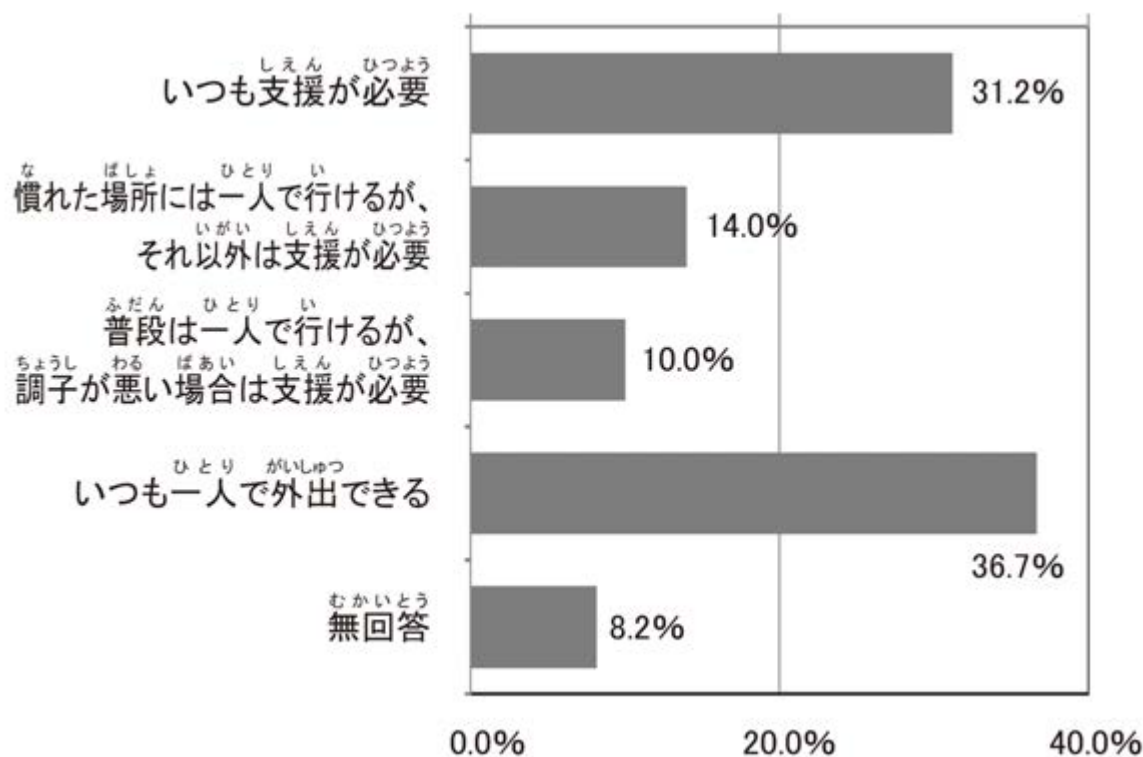


回答数=2,854

○ あなたが外出するときのことについておうかがいします。

(1) あなたが外出するときに支援は必要ですか(1つに○をしてください)。

「いつも一人で外出できる」と回答された方が最も多く、割合は36.7%となりました。支援が必要な方の内、「いつも支援が必要」な方が最も多く割合は31.2%となりました。

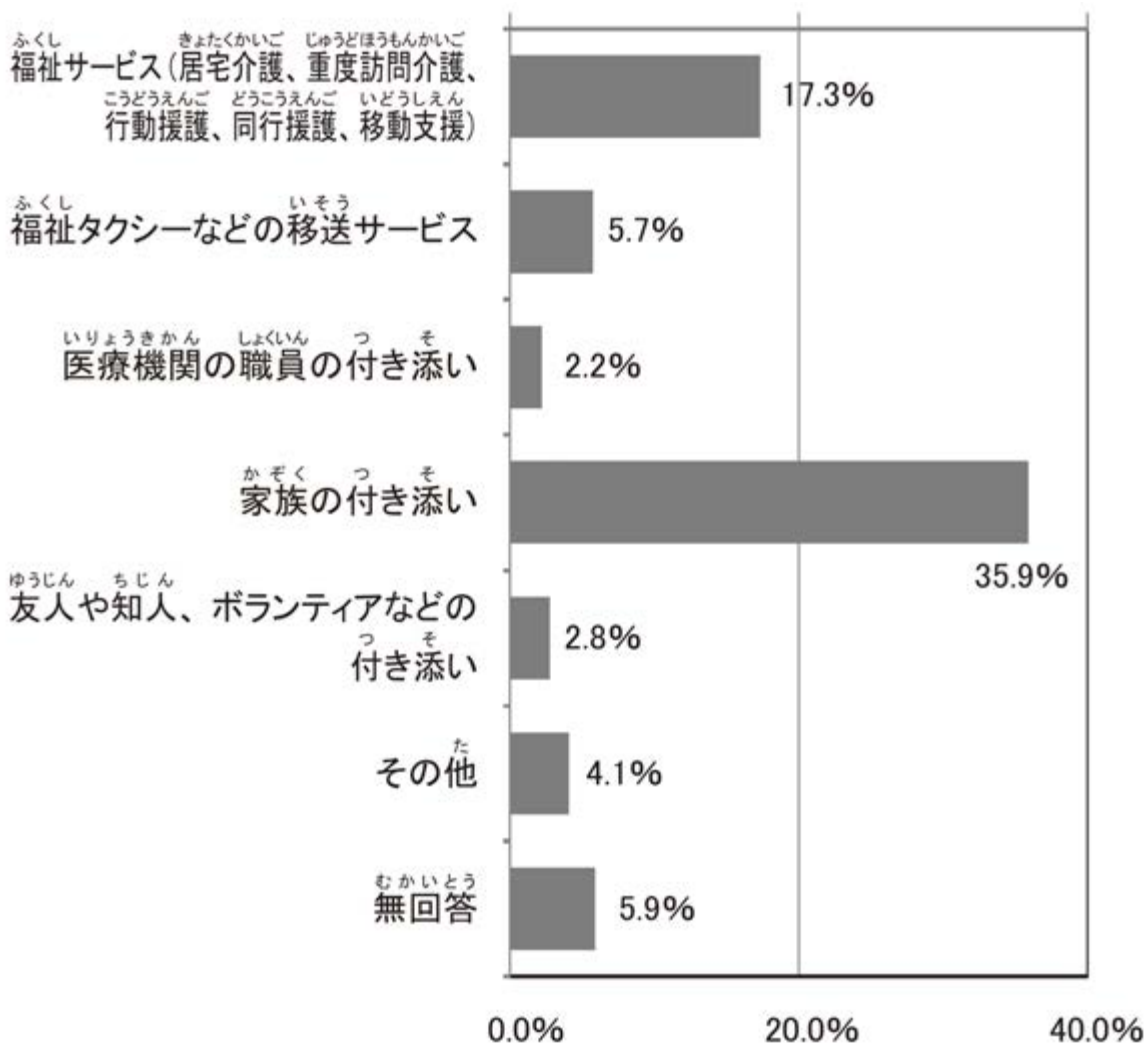


回答数=2,854



(2)(1)で「いつも支援が必要」「慣れた場所には一人で行けるが、それ以外  
 は支援が必要」「普段は一人でいけるが、調子が悪い場合は支援が必要」  
 と回答した方におうかがいします。どのような支援で外出していますか。

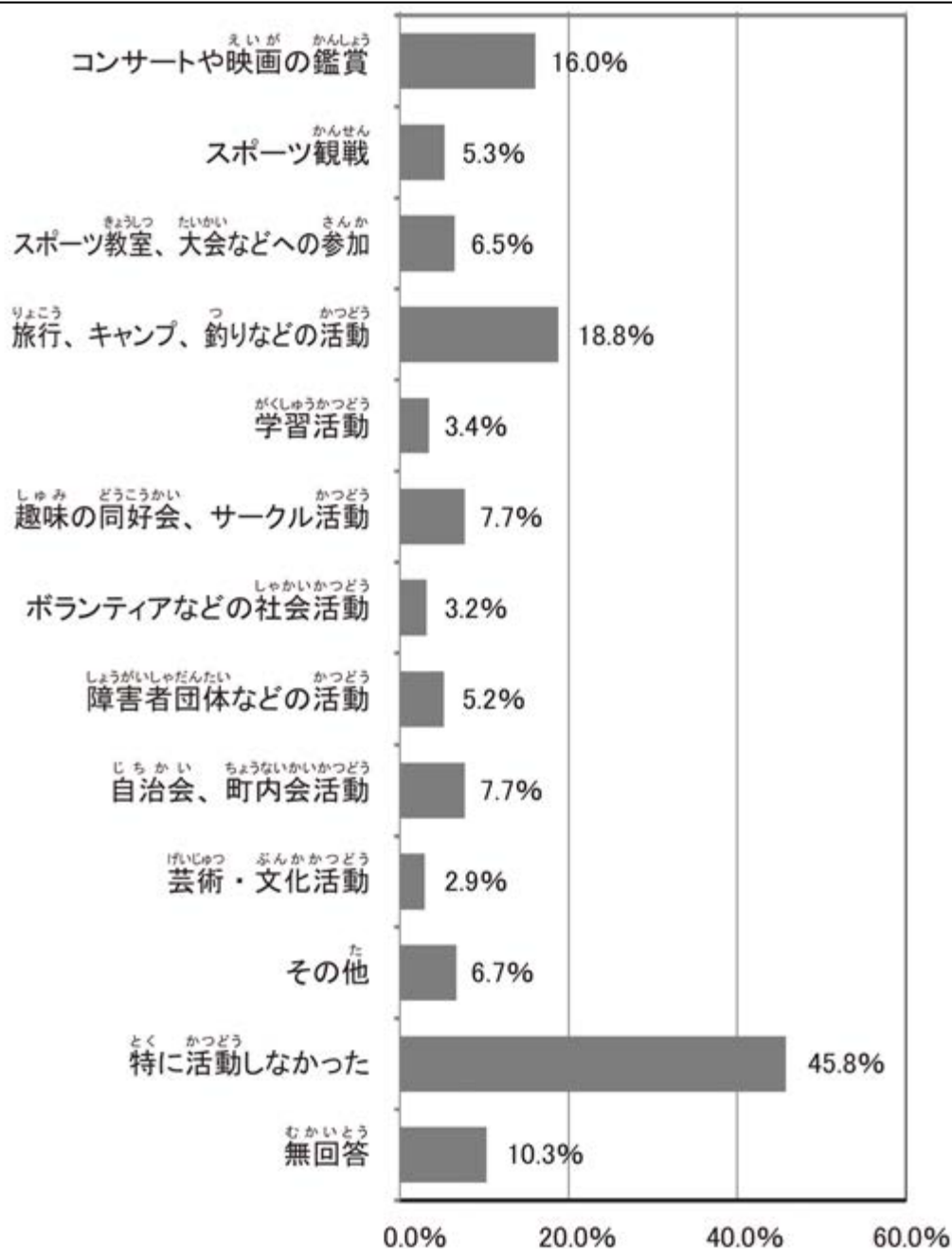
外出時の支援で最も多い方法が「家族の付き添い」で割合は35.9%と  
 なりました。次いで多いのが「福祉サービス（居宅介護、重度訪問介護、  
 行動援護、同行援護、移動支援）」で17.3%となりました。



回答数=1,575

○ この1年間、どのような余暇活動をしましたか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

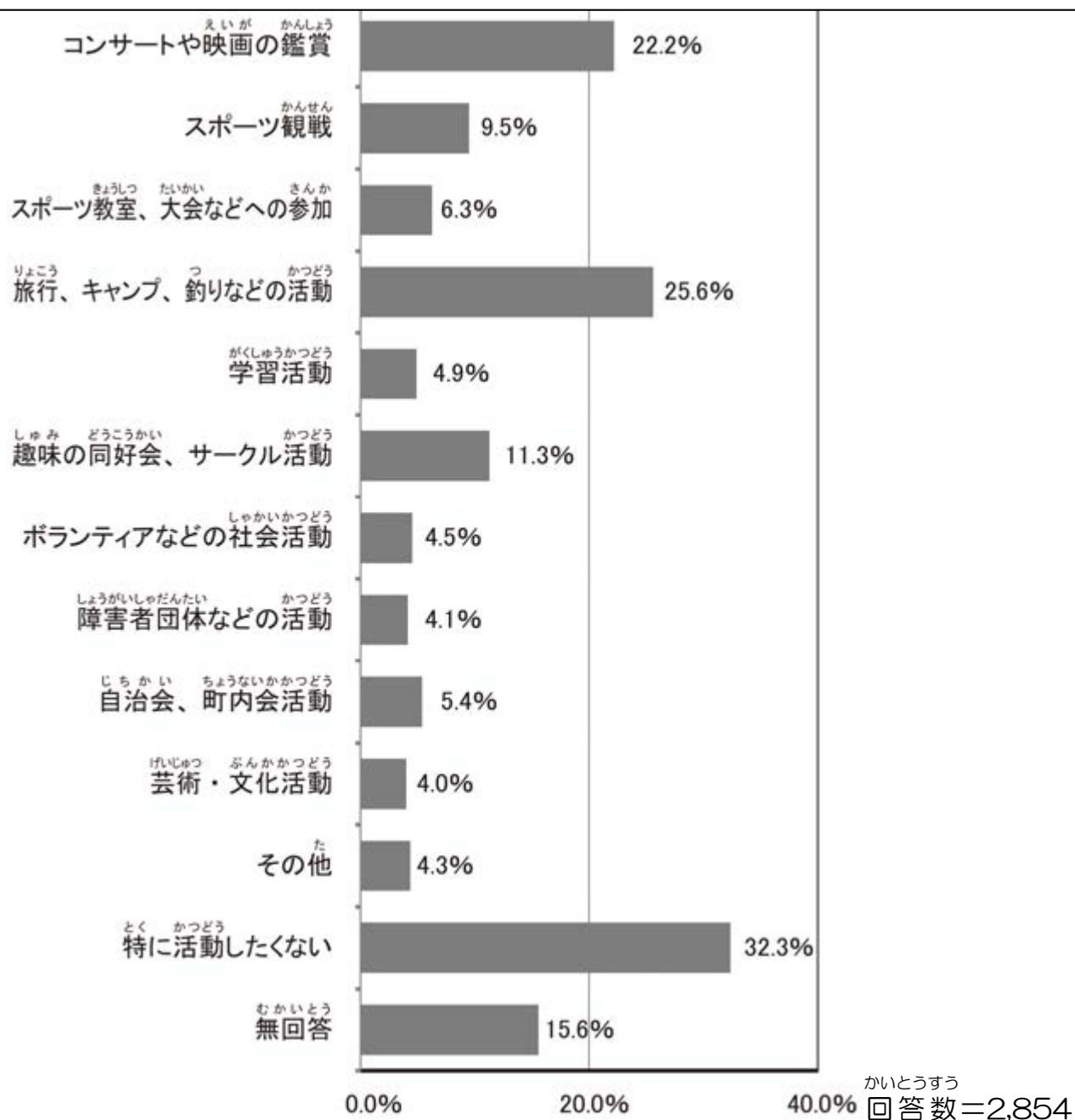
「特に活動しなかった」と回答された方が最も多く 45.8%でした。余暇活動された方の内、最も多かったのが「旅行、キャンプ、釣りなどの活動」で 18.8%、「コンサートや映画の鑑賞」で 16.0%となりました。



回答数=2,854

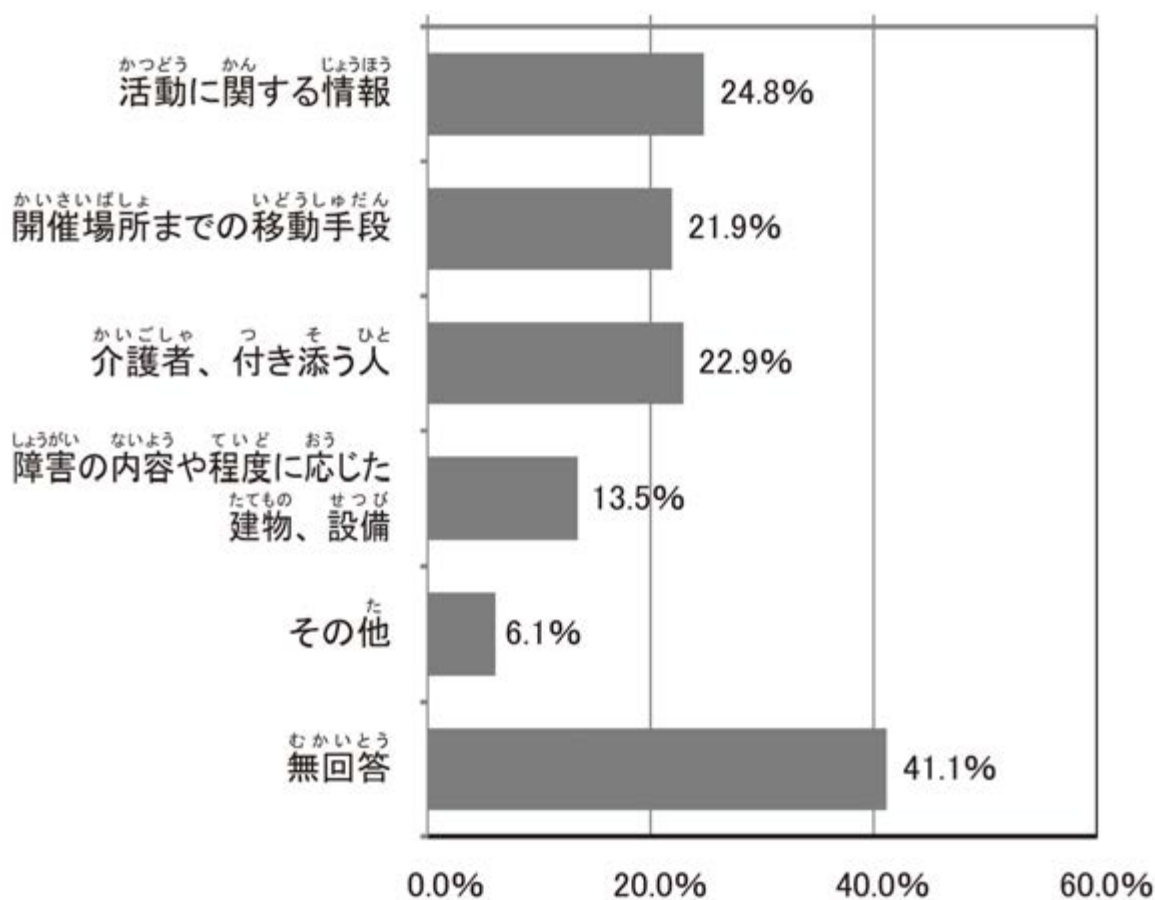
○ 今後、どのような活動をしたいですか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「特に活動したくない」と回答された方が最も多く、割合は32.3%となりました。今後活動をしたいと思われている方の中で、最も多かったのが「旅行、キャンプ、釣りなどの活動」で25.6%、次いで多かったのが「コンサートや映画の鑑賞」で22.2%となりました。



○ 上記の活動をするために、どのようなことが必要ですか（あてはまるもの  
 すべてに○をしてください）。

「活動に関する情報」を回答された方が最も多く、割合は24.8%となりました。次いで多かったのが「介護者、付き添う人」で22.9%、「開催場所までの移動手段」で21.9%となりました。

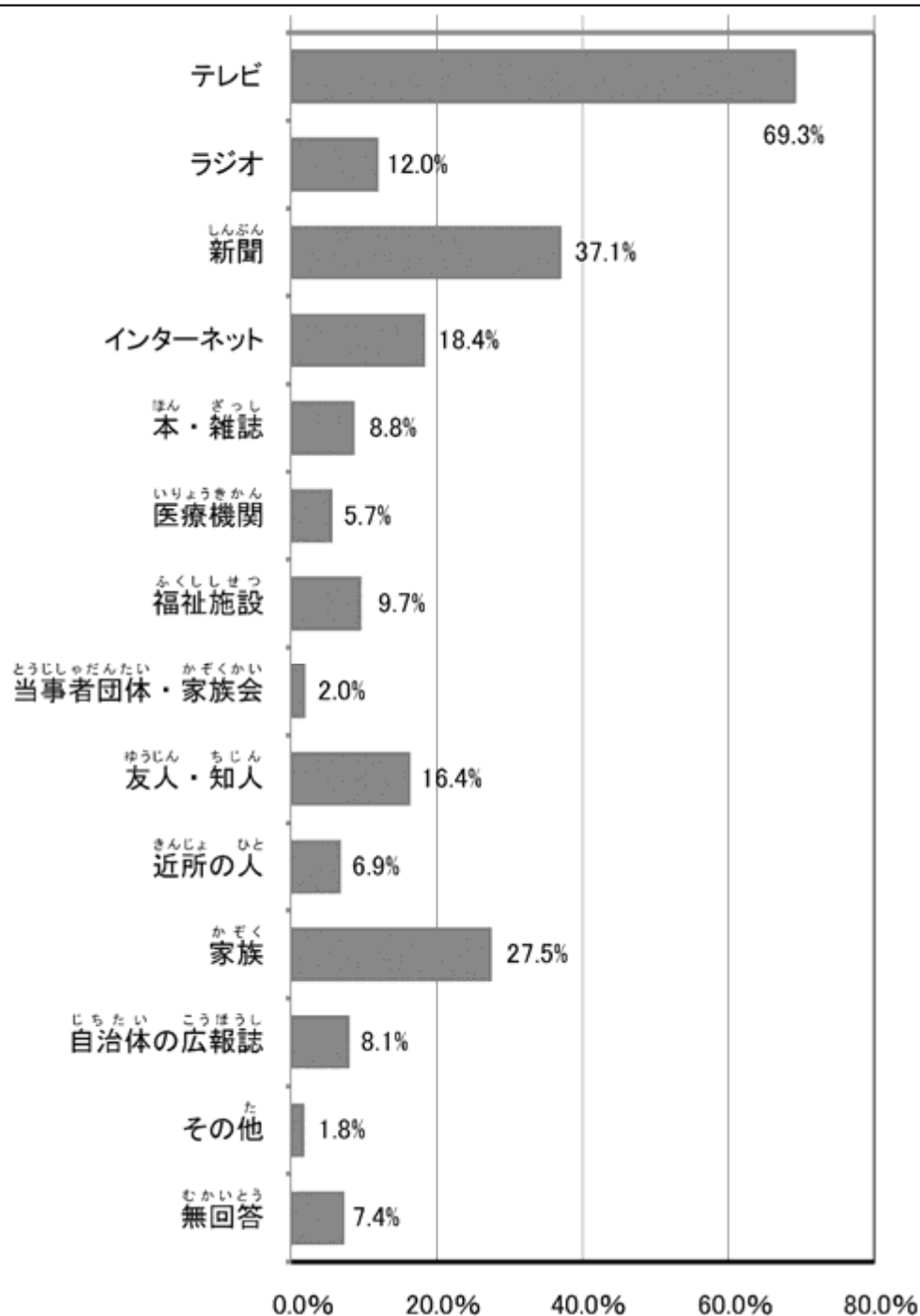


回答数=2,854

## 10. 必要な情報を集める方法

あなたは日常生活に必要な情報をどうやってつかんでいますか（多いものに3つまで○をしてください）。

情報をつかむ方法で最も多いのが「テレビ」で割合は69.3%となりました。次いで多いのが「新聞」で37.1%、「家族」で27.5%となりました。



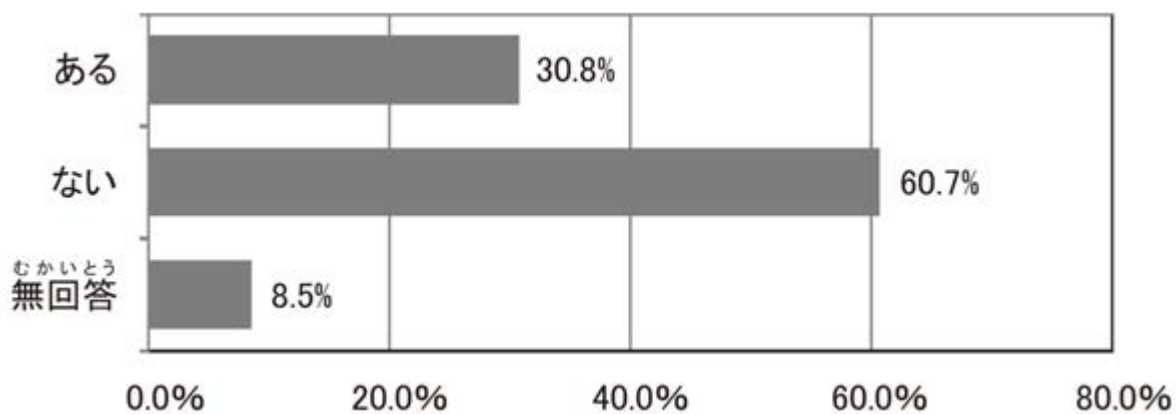
かいとうすう  
回答数=2,854

## 11. 人権や権利擁護

○ あなたが経験したことについておたずねします。

(1) あなたはこれまでに、障害があることで嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったことがありますか。

「ない」と回答された方が多く、割合は60.7%となりました。

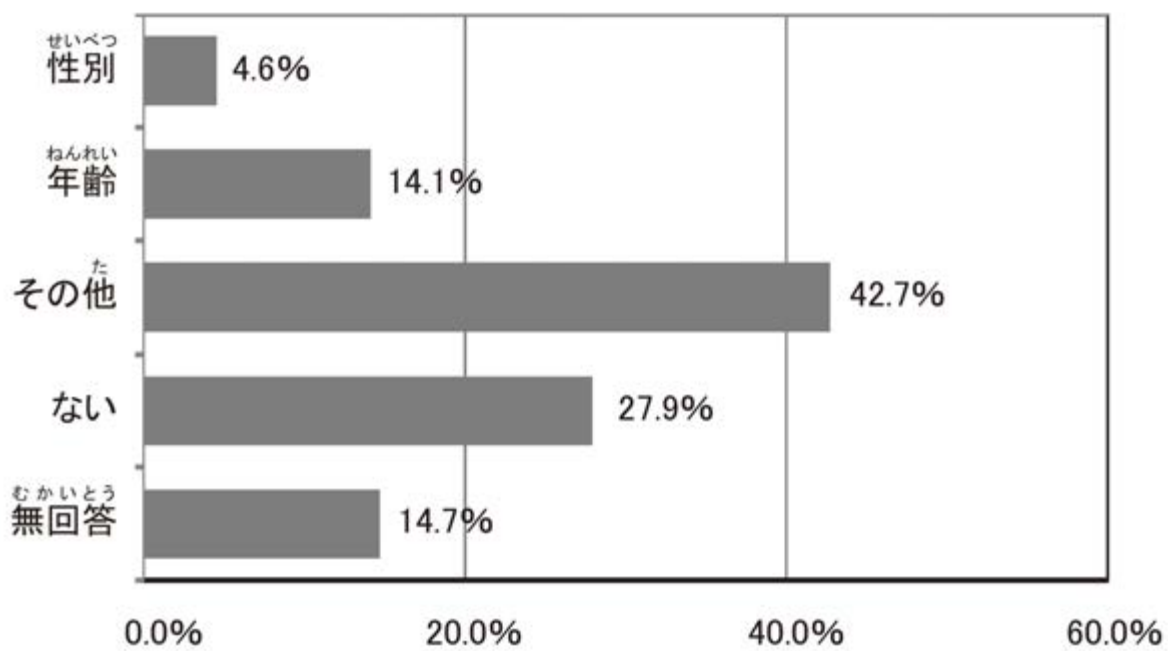


かいとうすう  
回答数=2,854

(2) (1) で「ある」と回答された方におたずねします。

障害があることに加えて、次のようなことで嫌な思いをしたことがありますか。

「ない」と回答された方が最も多く割合は 27.9%でした。嫌な思いをされたことがある方の内、年齢で嫌な思いをされた方は 14.1%、性別で 4.6% となりました。

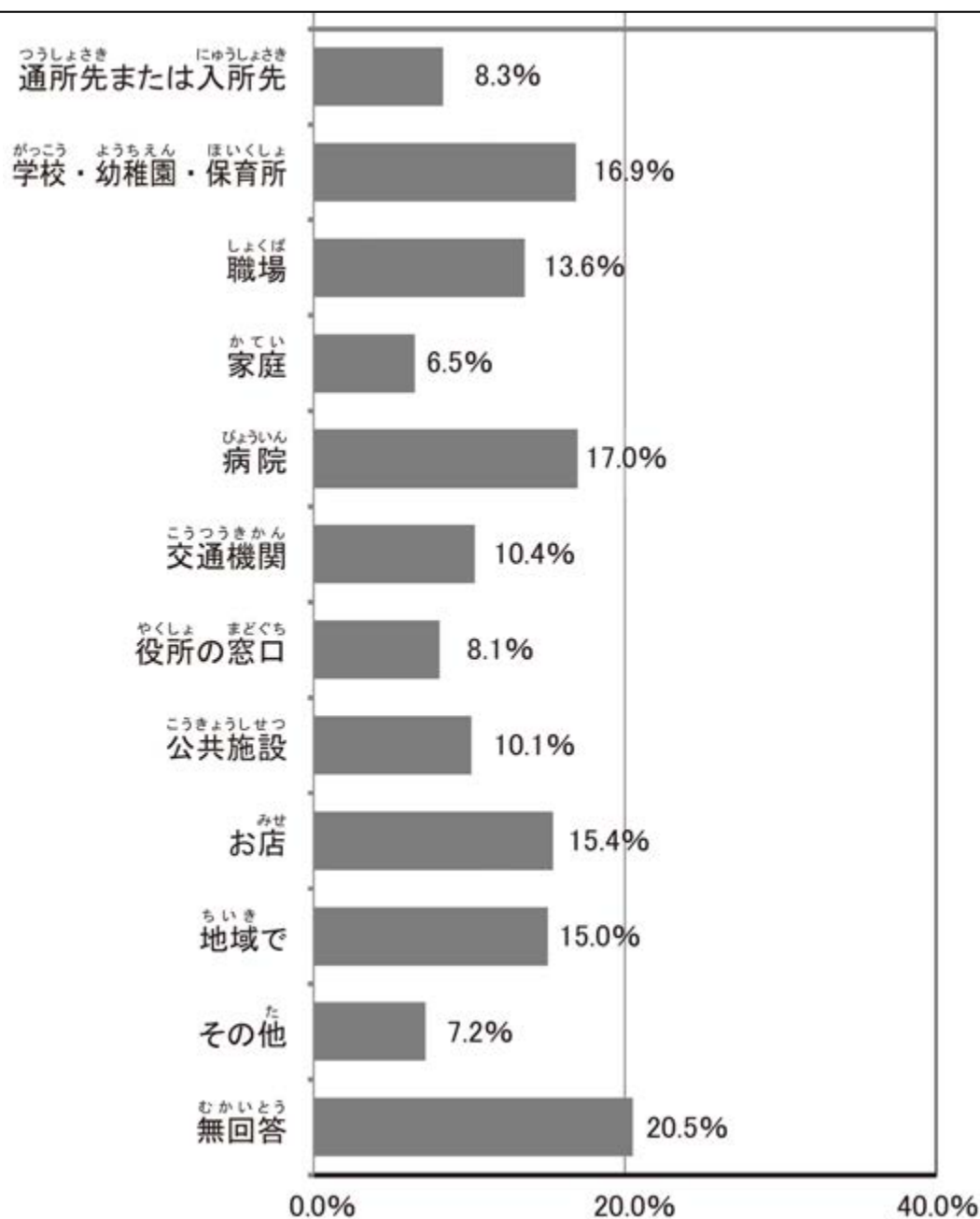


かいとうすう  
回答数=878

○ (1) で「ある」と回答された方におたずねします。

(1) 嫌な思いをしたり、配慮してもらえなかったのは、どのような場所でしたか（あてはまるもの全てに○をしてください）。

最も多い場所が「病院」で 17.0%、次いで「学校・幼稚園・保育所」が 16.9%、「お店」が 15.4%となりました。



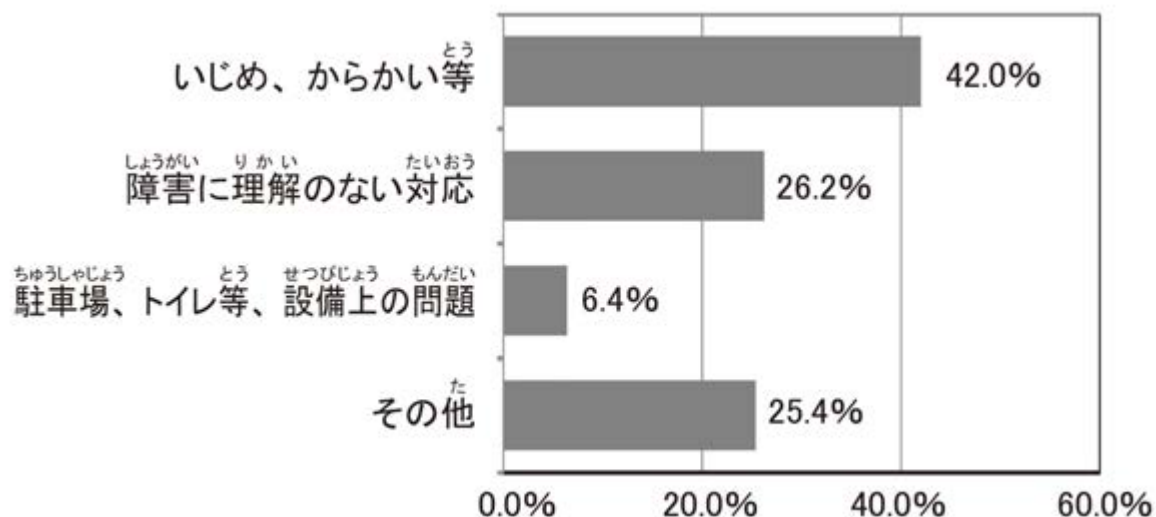
かいとうすう  
回答数=878



(2) それは、どのような<sup>ないよう</sup>内容でしたか。

もっと <sup>おお</sup>多かったのが「いじめ、からかい<sup>とう</sup>等」で割合は 42.0%となりました。

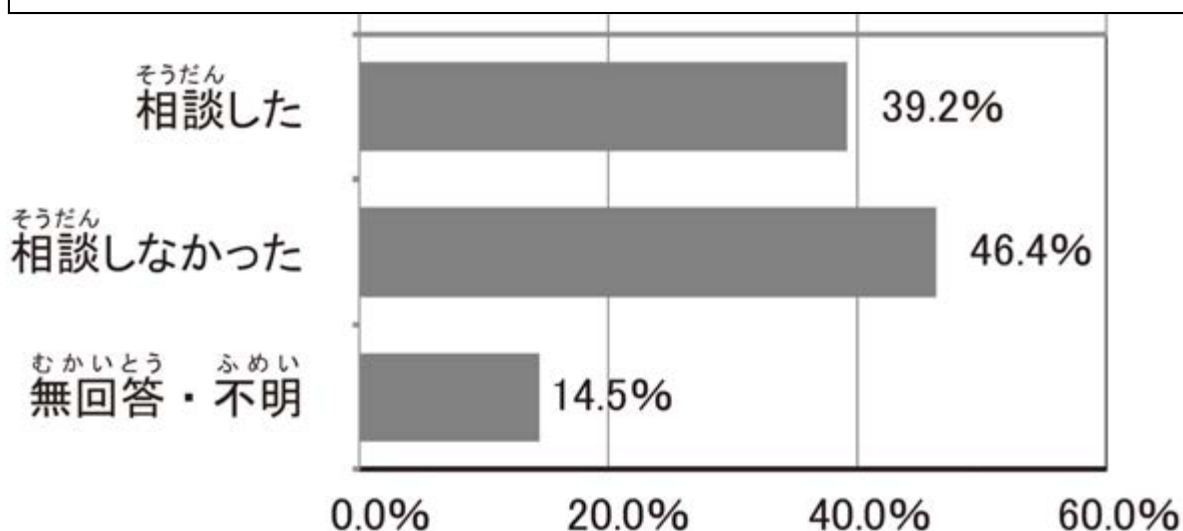
つ <sup>おお</sup>次いで多かったのが「障害<sup>しょうがい</sup>に理解<sup>りかい</sup>のない<sup>たいおう</sup>対応」で 26.2%となりました。



かいとうすう  
回答数=469

(3) 嫌<sup>いや</sup>な思<sup>おも</sup>いをしたり、配慮<sup>はいりょ</sup>してもらえなかったとき、誰<sup>だれ</sup>かに相談<sup>そうだん</sup>しましたか。

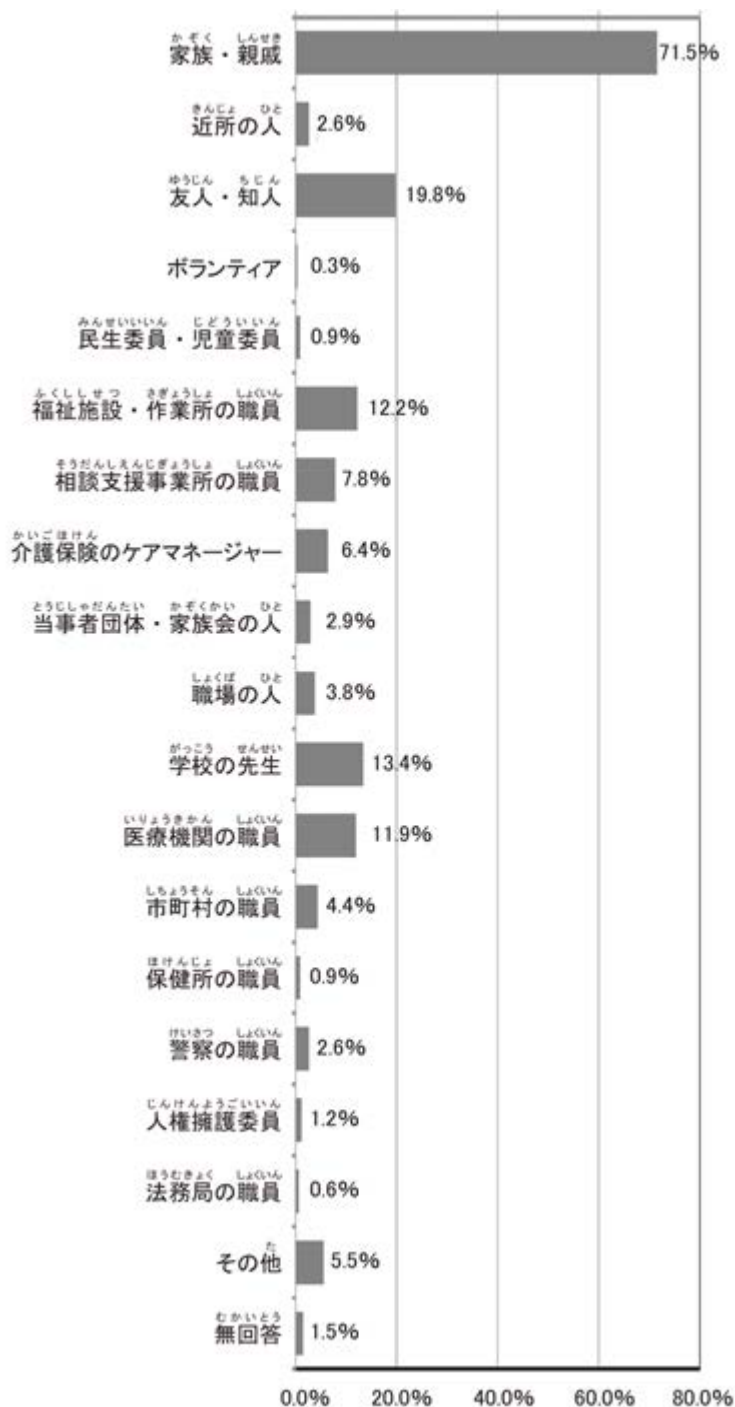
「相談<sup>そうだん</sup>しなかった」方<sup>かた</sup>のほうが多く、割合は 46.4%となりました。



かいとうすう  
回答数=878

(4) (3) で「相談した」とお答えされた方におたずねします。誰に相談しましたか。(あてはまるもの全てに○をしてください)。

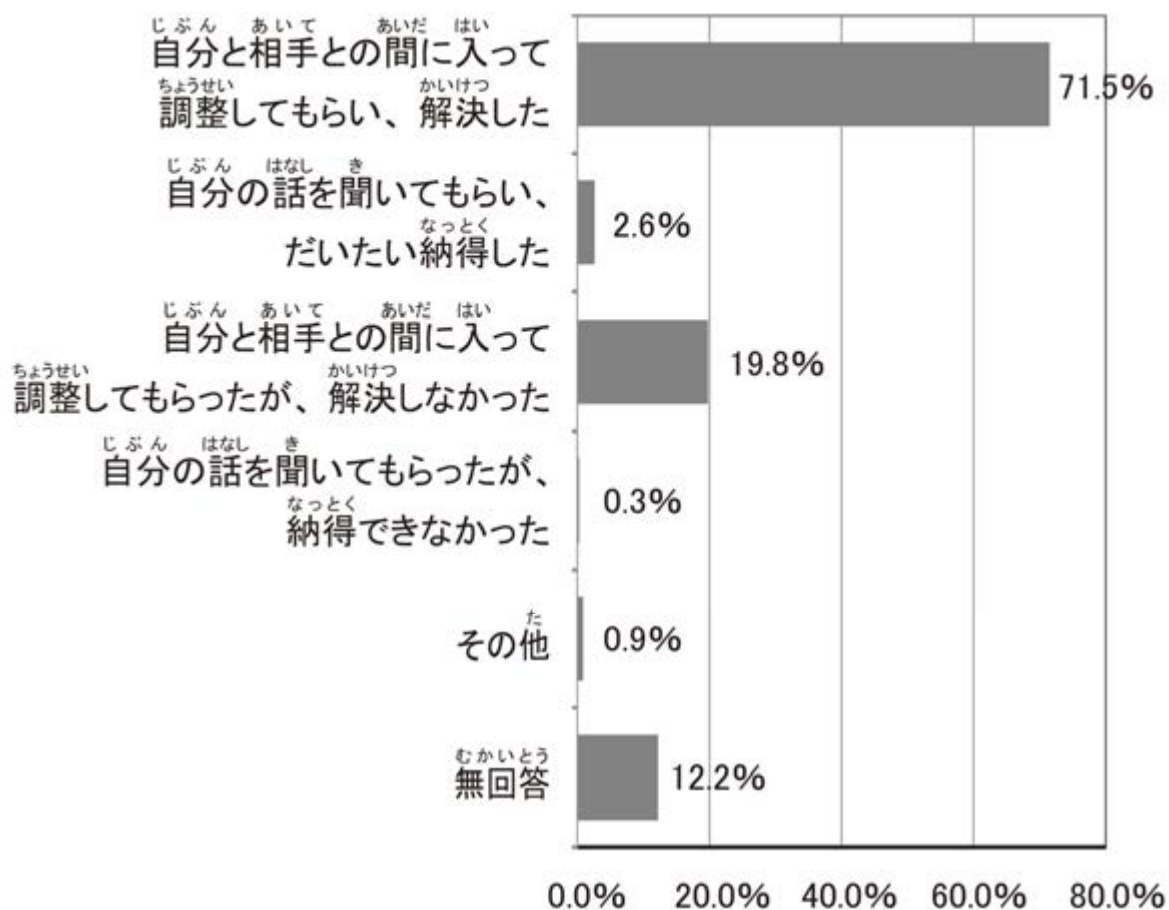
相談相手として最も多かったのが「家族・親戚」で 71.5%となりました。  
次いで多かったのが「友人・知人」で 19.8%、「学校の先生」で 13.4% となりました。



かいとうすう  
回答数=344

(5) 相談した結果、どうなりましたか。

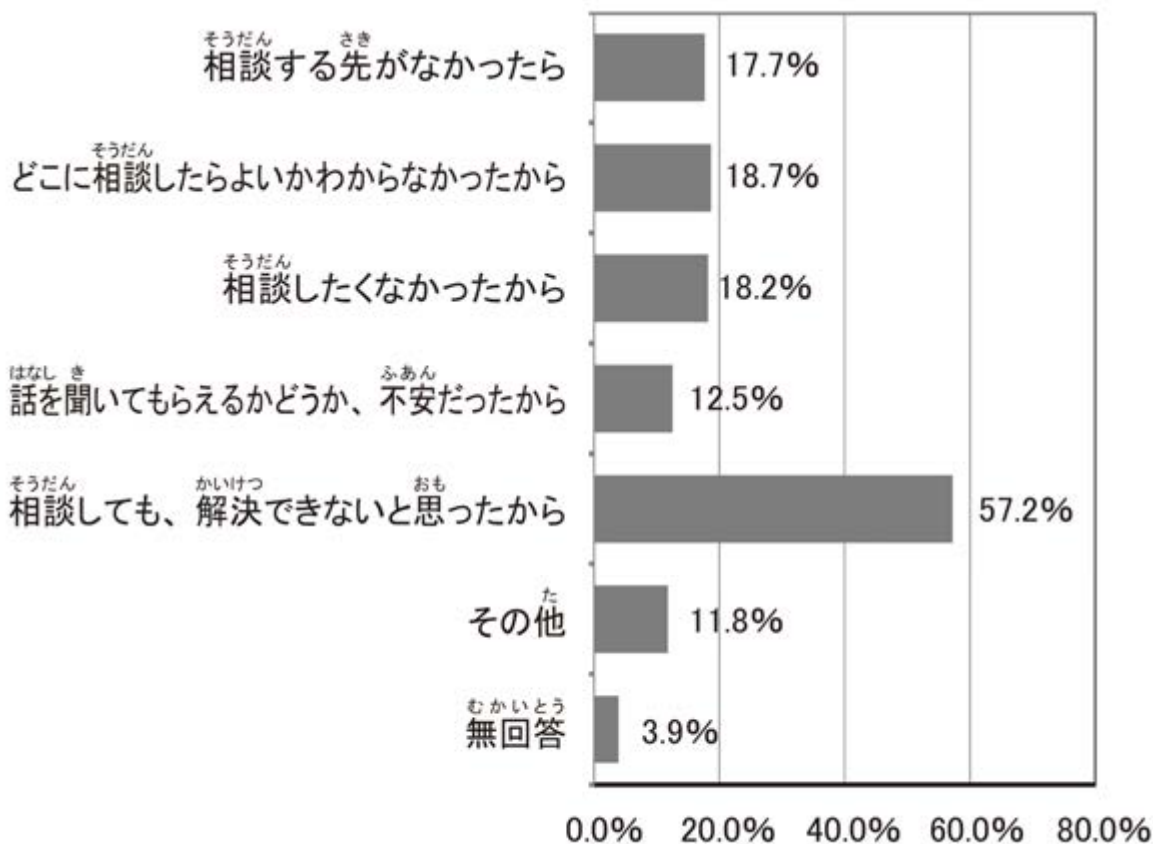
「自分と相手との間に入って調整してもらい、解決した」方が最も多く、割合は71.5%となりました。次いで多かったのが「自分と相手との間に入って調整してもらったが、解決しなかった」方で割合は19.8%となりました。



かいとうすう  
回答数=344

(6)(3)で「相談しなかった」とお答えされた方におたずねします。相談しなかったのはなぜですか(あてはまるもの全てに○をしてください)。

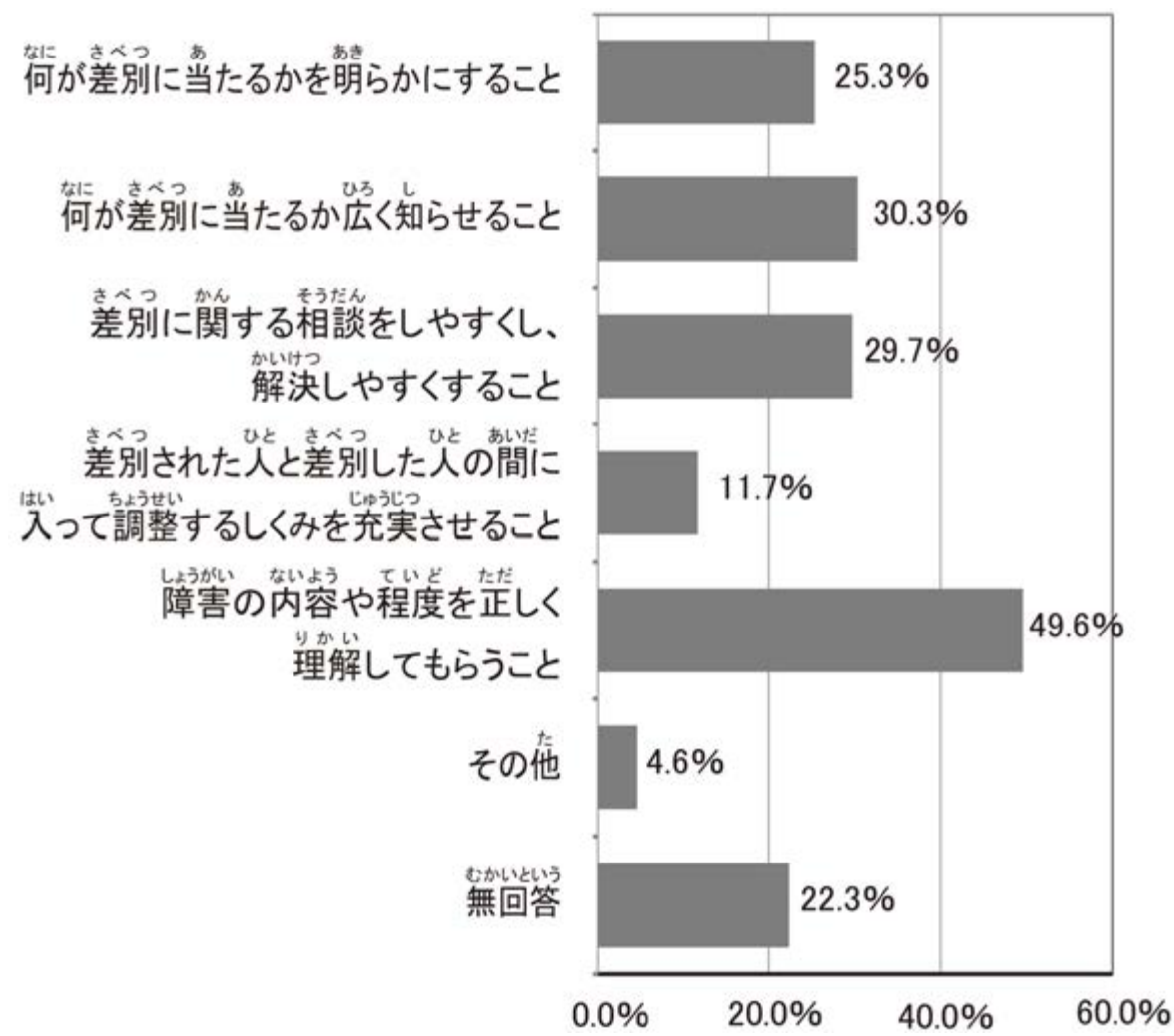
「相談しても、解決できないと思ったから」と回答された方が最も多く、割合は57.2%でした。次いで多かったのが「どこに相談したらよいかわからなかったから」で割合は18.7%となりました。



かいとうすう  
回答数=407

○ 全ての方におたずねします。障害を理由とする差別をなくすためには、  
 どのようなことが必要とされますか。(あてはまるもの全てに○をしてくだ  
 さい)。

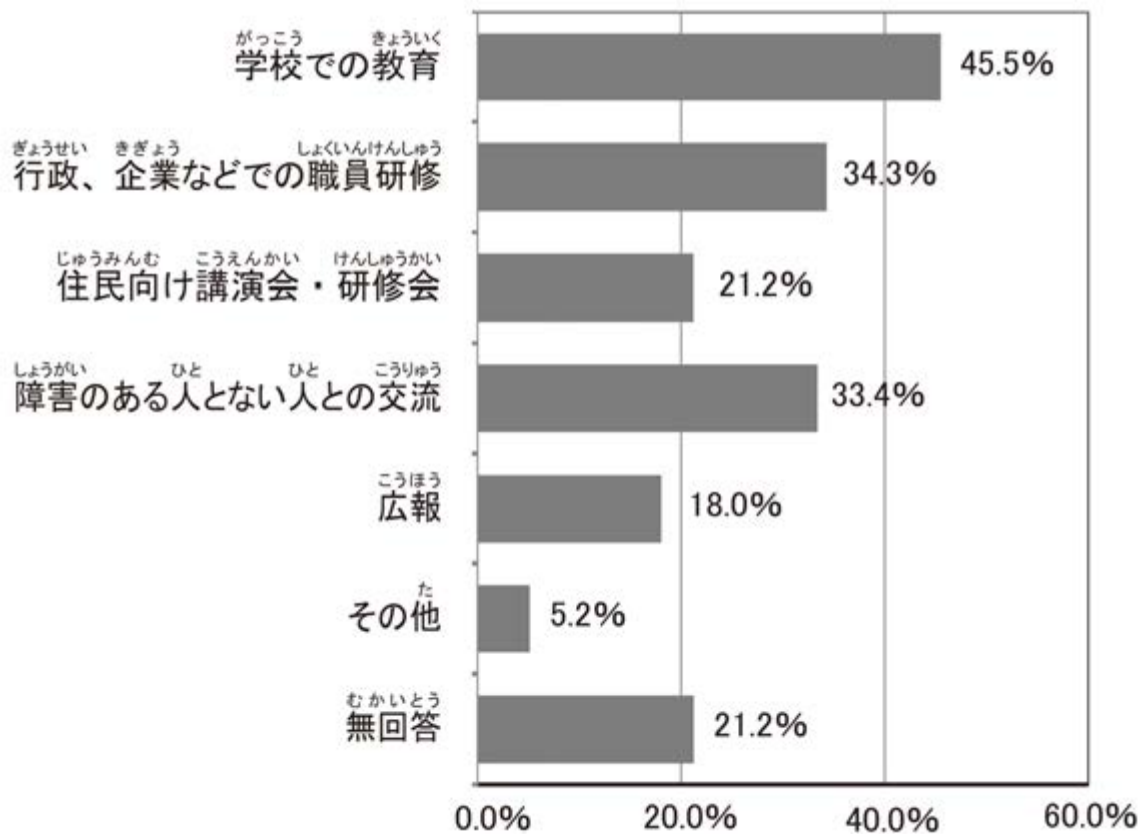
もっともおもったのが「障害の内容や程度を正しく理解してもらうこと」で  
 わりあい割合は49.6%となりました。ついで多かったのが「何が差別に当たるかを  
 ひろく知らせること」でわりあい割合は30.3%でした。



かいとうすう  
 回答数=2,854

○ 全ての方におたずねします。障害を理解してもらうためには、どのような方法が効果的だと思いますか。（あてはまるもの全てに○をしてください）。

「学校での教育」と回答された方が最も多く、割合は45.5%となりました。次いで多かったのが「行政、企業などでの職員研修」で34.3%、「障害のある人とない人との交流」で33.4%となりました。

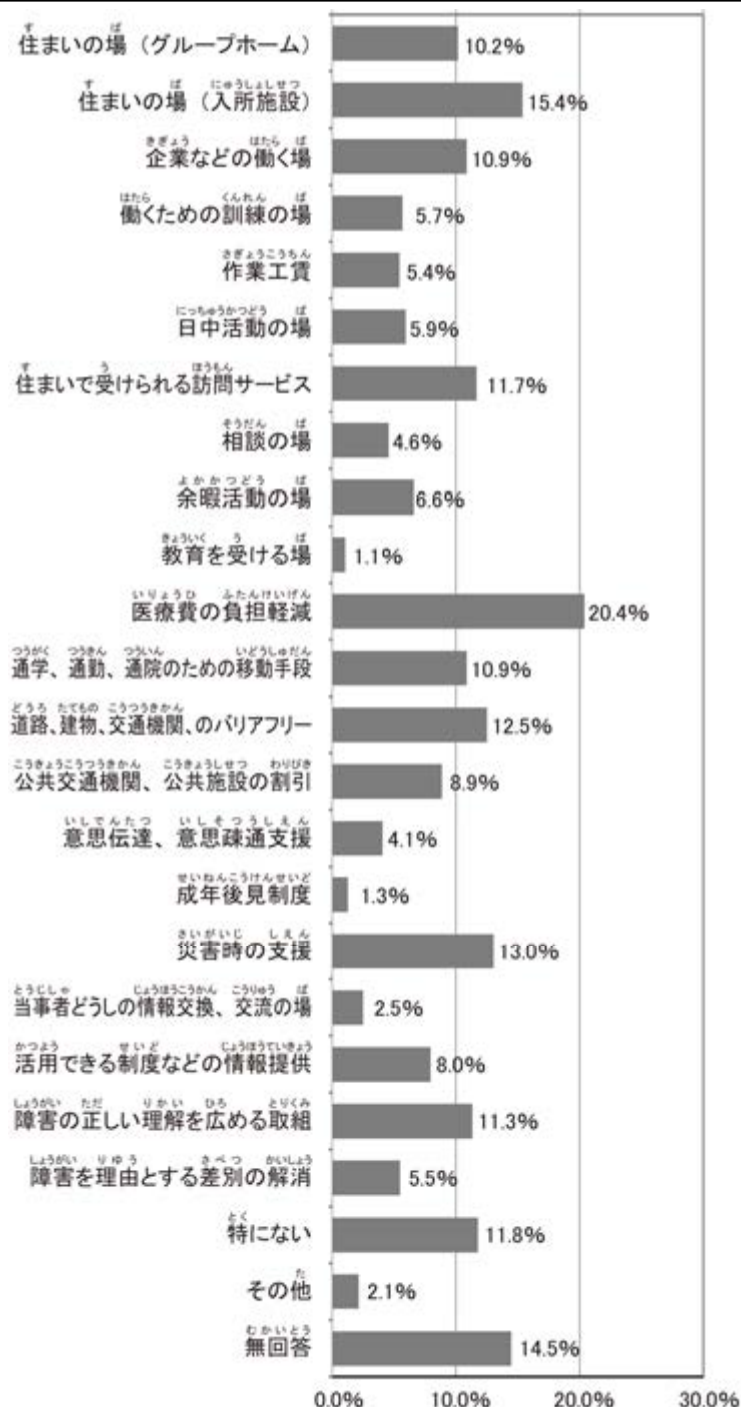


かいとうすう  
回答数=2,854

## 12. 障害のある方への取り組み

○ あなたが今後生活するうえで、充実させてほしいと思うことは何ですか  
(次の中から3つまで○をしてください)。

最も多い回答が「医療費の負担軽減」で、割合は20.4%となりました。次いで多かったのが「住まいの場（入所施設）」で15.4%となりました。

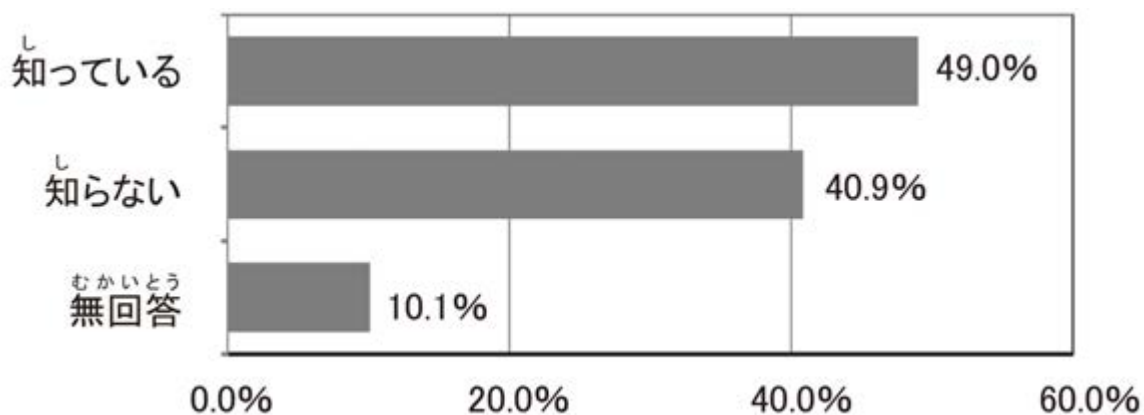


かいとうすう  
回答数=2,854

○ 県が実施している「障害者等用駐車区画利用証制度」についておうかがいします。

(1) あなたは「障害者等用駐車区画利用証制度」をご存じですか。

「知っている」と回答した方のほうが多く、割合は49.0%となりました。

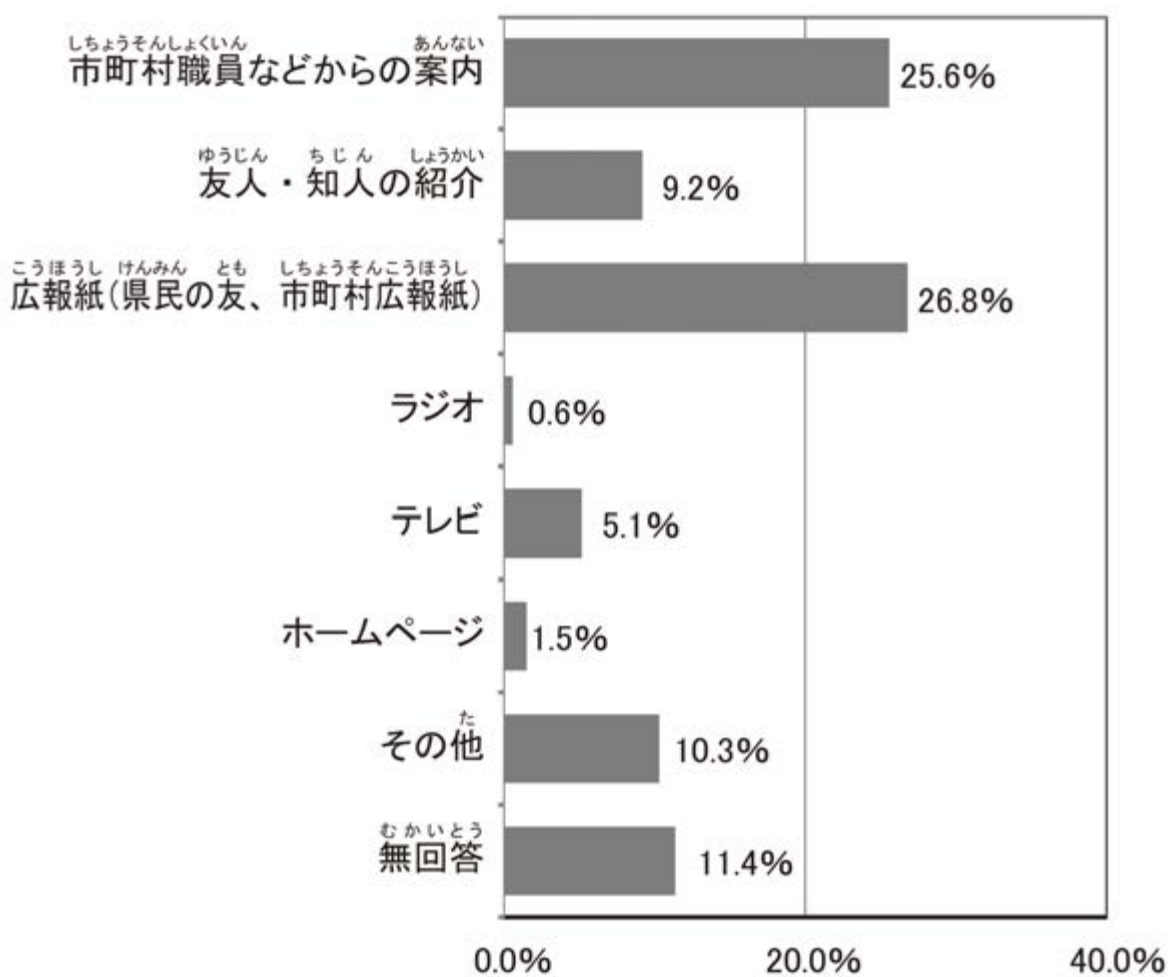


回答数=2,854



(2)(1)で「知っている」とお答えいただいた方へおうかがいします。制度を知ったきっかけは何ですか（1つに〇をしてください）。

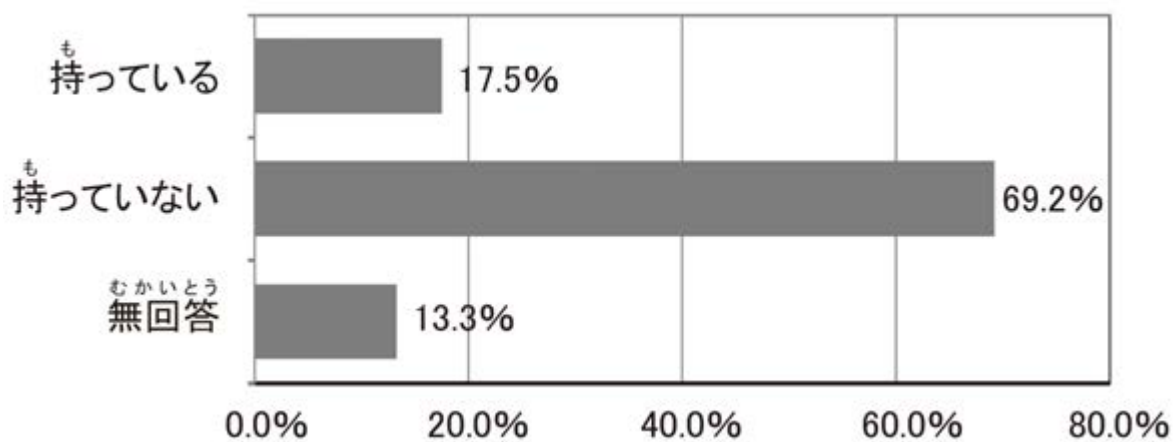
「広報紙（県民の友、市町村広報紙）」と回答された方が最も多く、割合は26.8%でした。次いで「市町村職員などからの案内」が25.6%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854

(3) あなたは「<sup>しょうがいしゃとうようちゆうしゃくかくりようしょう</sup>障害者等用駐<sup>も</sup>車区画利用証」を持っていますか。

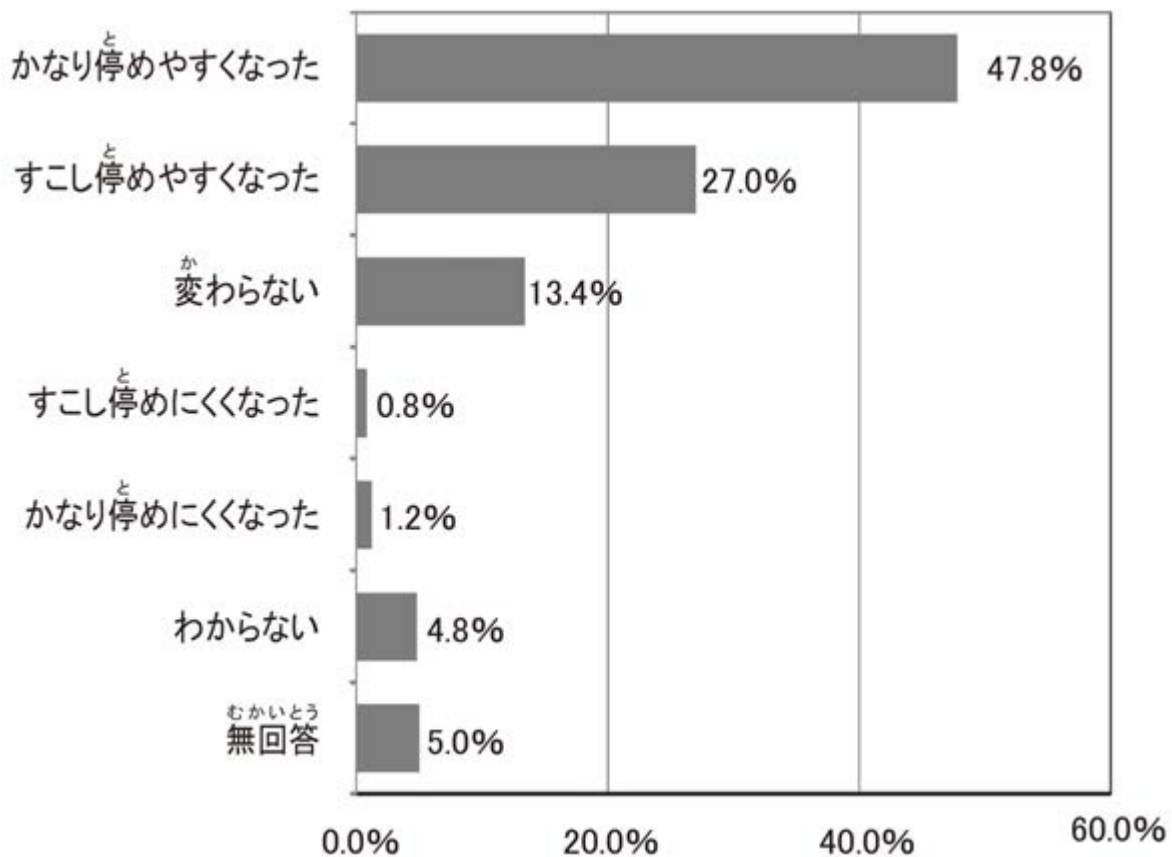
「<sup>も</sup>持っていない」と回答された方は69.2%となり、「<sup>も</sup>持っている」と回答された方は17.5%でした。



かいとうすう  
回答数=2,854

(4) 利用者証をお持ちの方におうかがいします。利用者証を持つことで、車いす使用者用駐車区画などに停めやすくなりましたか（1つに〇をしてください）。

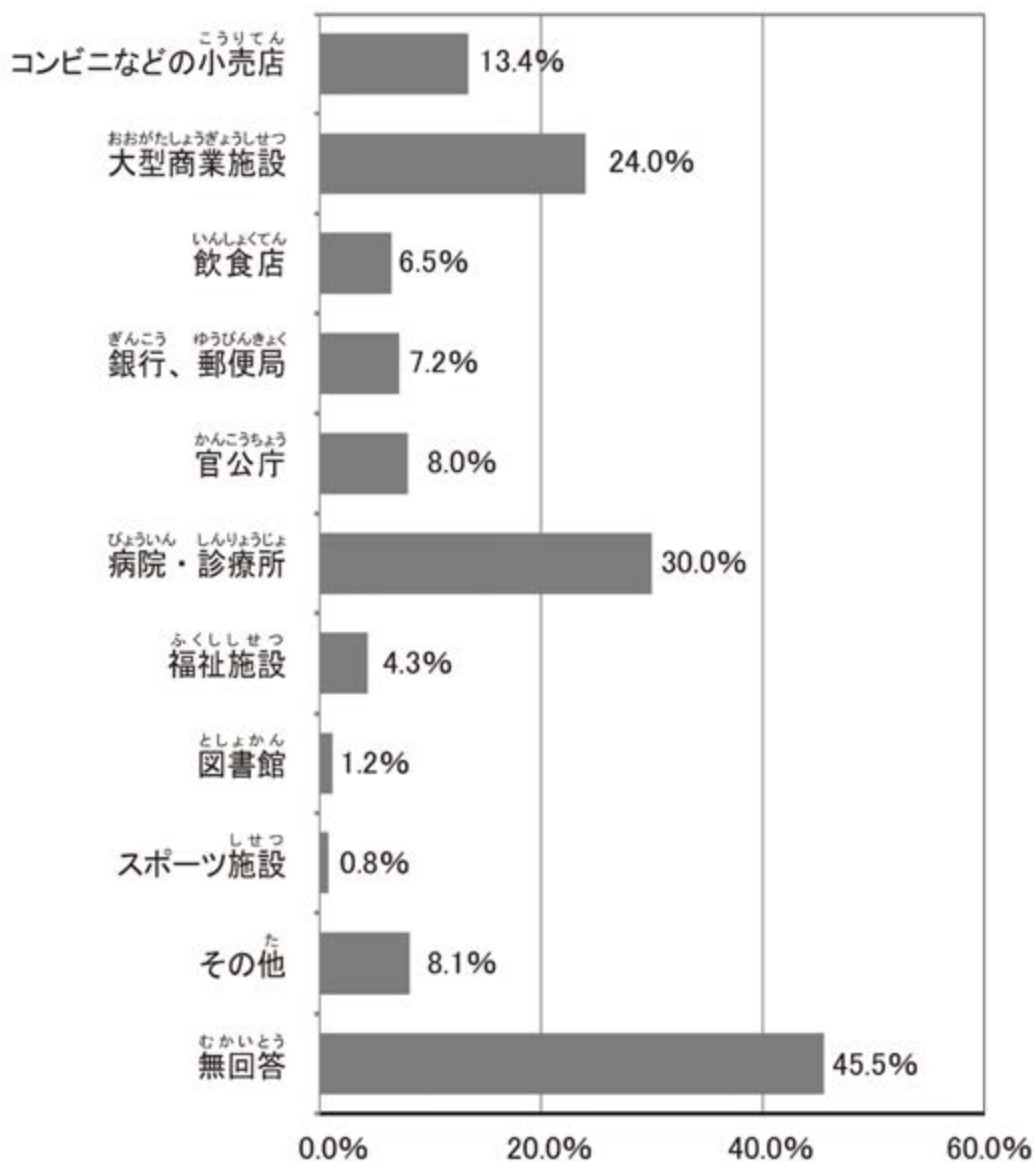
利用者証をお持ちの方の内、47.8%の方が「かなり停めやすくなった」と回答しています。「少し停めやすくなった」と回答された方も27.0%となり、停めやすくなったと回答された方の割合は74.8%となりました。



回答数=500

(5) 全ての方におうかがいします。あなたが車いす使用者用駐車区画などをよく利用する施設はどこですか(多いものに3つまで〇をしてください)。

最も多いのが「病院・診療所」で割合は30.0%となりました。次いで「大型商業施設」で24.0%、「コンビニなど小売店」で13.4%と続きました。

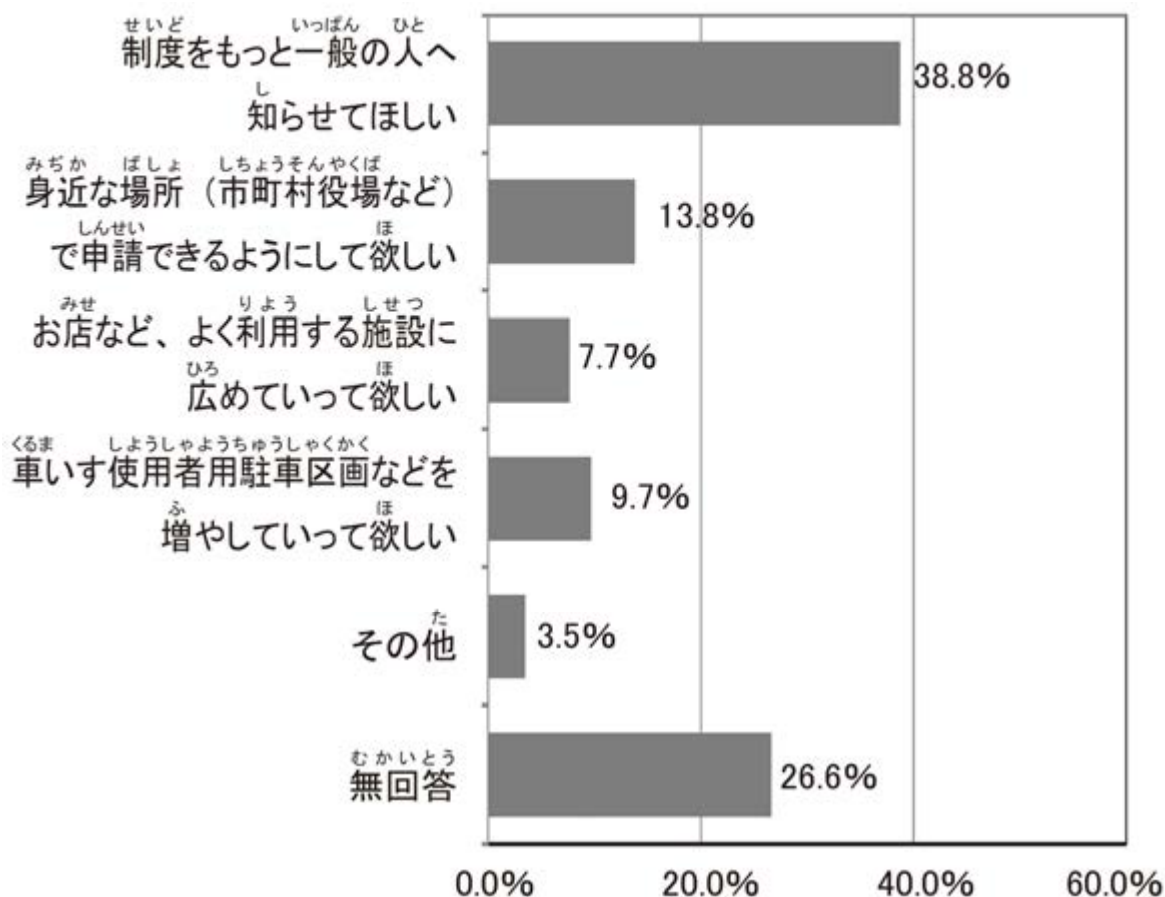


かいとうすう  
回答数=2,854

(6) 全ての方におうかがいします。「障害者等用駐車区画利用証制度」

を充実させるために、何が必要だと思えますか（1つに〇をしてください）。

最も多いのが「制度をもっと一般の人へ知らせて欲しい」で割合は38.8%となりました。次いで多かったのが「身近な場所（市町村役場など）で申請できるようにして欲しい」で13.8%となりました。



かいとうすう  
回答数=2,854